



モンスターの世界で、  
人間と魔物の戦争が始まった。

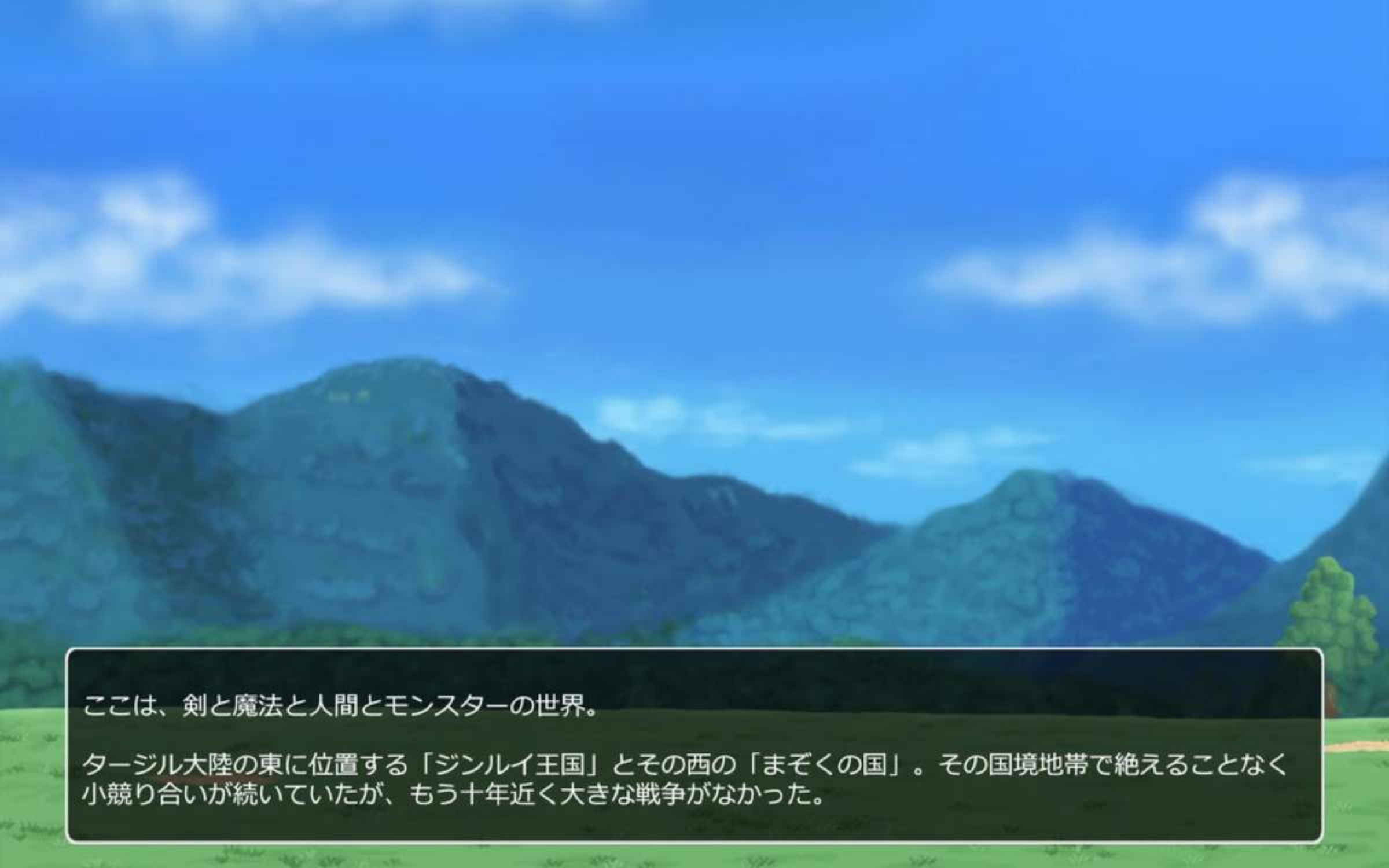
剣と魔法と人間と

~魔姦クエスト~

18禁セリフ付CG集

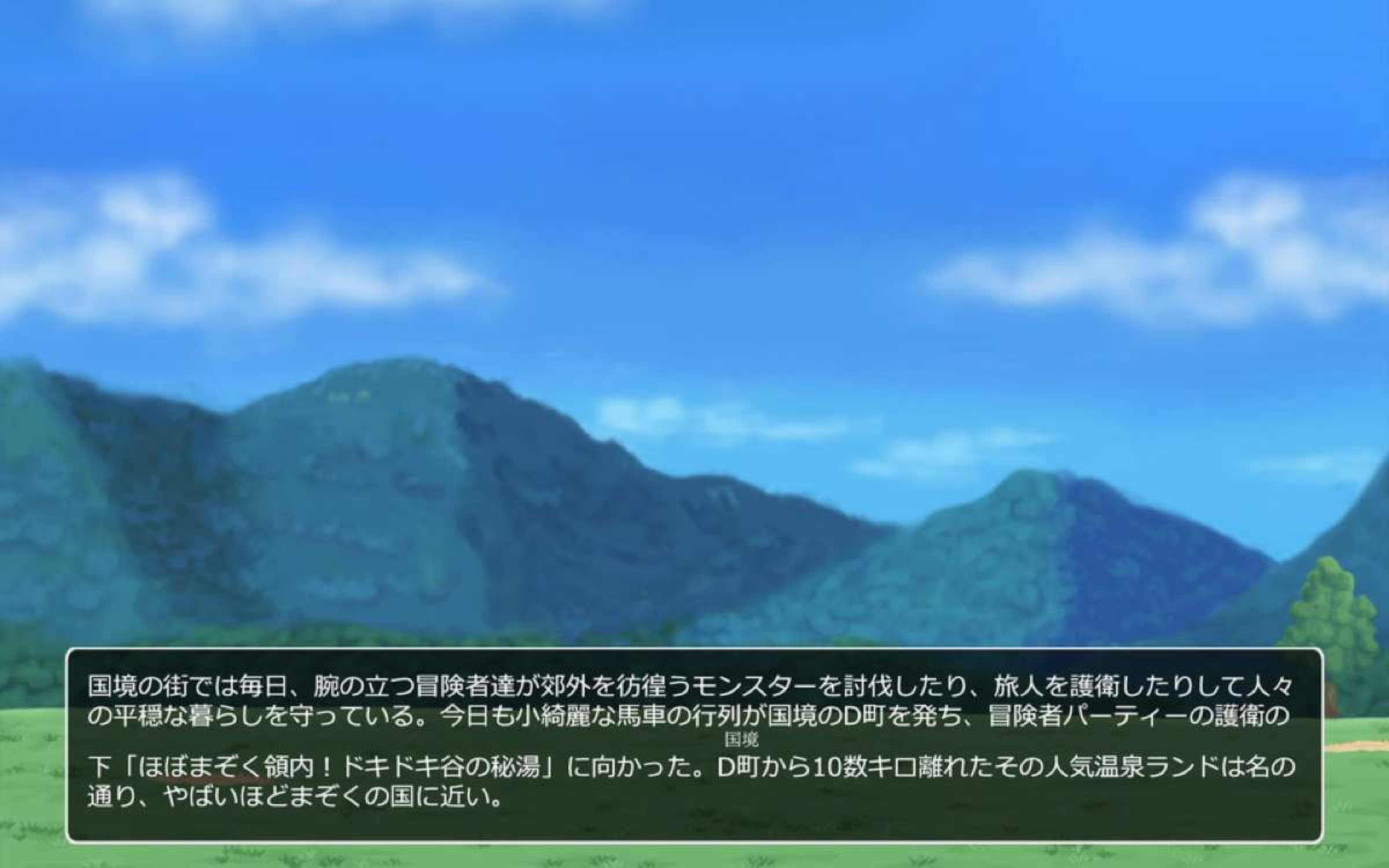
魔物との戦いで女冒険者も町娘も王族も・・・





ここは、剣と魔法と人間とモンスターの世界。

タージル大陸の東に位置する「ジンレイ王国」とその西の「まぞくの国」。その国境地帯で絶えることなく小競り合いが続いていたが、もう十年近く大きな戦争がなかった。



国境の街では毎日、腕の立つ冒険者達が郊外を彷徨うモンスターを討伐したり、旅人を護衛したりして人々の平穏な暮らしを守っている。今日も小綺麗な馬車の行列が国境のD町を発ち、冒険者パーティーの護衛の

国境

下「ほぼまぞく領内！ドキドキ谷の秘湯」に向かった。D町から10数キロ離れたその人気温泉ランドは名の通り、やばいほどまぞくの国に近い。





商人ギルトのエース護衛隊が駐在し、砦のように堅牢というその秘湯の中は安全だが、向かう客が必ずしも無事に到達できるとは限らない。とある貴族の三女とその使用人達を乗せた馬車の行列を上級魔物が襲った！

冒険者達が倒された！

お嬢様が攫われた！



「くっははは！大勝っ大勝！上肉上肉ウ！  
勝者は享受するのじゃ！」

「いいぞ人間の小娘よ！良い穴じゃ！  
かるうじてわしの息子を根元まで啜え込ん  
だとは！先月犯った村娘はこれ食らって  
一瞬気絶したんじゃぞ？」

「きっきっきっ！ニンゲンの  
メス戦士さまはひどいサマだ！  
ムスコで股間のおくまで突いて  
やる！」

「酷いよ！痛いよ！やめて！  
抜いてえ！」  
「おっ、お願いからもう  
許してえ！！」





「きつきつきつ！ニンゲンの  
メス戦士さまの穴はきもち  
いいな！」  
「もう声もだせない！びやく  
回突かれただけで、うごかなく  
なった！」

「ううっ・・・酷すぎるよこんなの・・・  
モンスターが人間と・・・人間とする  
なんて！」

「ああ!?小娘よ何を言っている！  
はては、東の田舎出の新米勇者じゃ  
なあ？」  
「国境じゃ冒険者や旅人！人間の若い  
メスが我がまそくに犯されるのは日常  
茶飯事！くっははは！敗者は黙って  
わしの息子唾える！」

「みいイイ！もうやめてえ!!  
これ以上・・・これ以上  
子宮を突かれたら・・・  
おかしくなっちゃうわ!!」





「きっきききき！  
うごかなくなつた！  
きもちよかつた！  
いっばい出して、  
いっばいイかせた！  
精気うまかつた！」

「しかし、まあ！新米勇者にしてはよくやった  
方じゃ小娘よ！仲間より五分も長く抵抗し続け、  
びつくりサタ●を匹始末したとは！」

「その五分間仲間や白エブロンのメス達は性器に  
肛門！犯され続けてポロ雑巾になつたんじゃが！」

「まぞくの流儀じゃ！倒したメスの冒険者はボン  
と棺に成るまでひたすら犯し、ひたすら種付ける  
のじゃ！小娘よ、絶頂・受精の時あまりのシヨック  
で死ぬか、絶頂を重ねて精気潤れてしまつて死ぬ  
かの選択じゃ！」

「並の村娘など、わしの馬並み息子の射精で、  
食らえばピクピクとおさらばじゃが！お前  
さんはぜひ頑張つてイキ狂つてわしの経験値  
になつてもらおうのじゃ！」

「うっ。。。負けない。。。ヤギ風情が私を  
イかせられるもんか！」







「きつっきつっ！  
でもまだ死んでない！  
カラダがビクビク！  
かおが歪んでる！」  
「もっかい犯る！  
オレまだ甘い  
いける！メス戦士  
さまがんばって！」

「ああ・・・馬並みサイズの  
ヤギチ●ポから熱い精子  
いっぱい出てるウ♥」

「膨らんでるウ！無理！  
こんなの無理イ♥」

「子宮が滾るウ♥ 死んじやうウ♥」

「なんと！シヨツク死どころか  
まだ喋られるとは！」

「じゃが、とつても「負けてない」  
とは見えぬな！」

「ちよつと待ちな！わしもう歳じや  
から、一秒くらい休憩が必要なの  
じや！くっははは！」

ドクン



ブル♥

ブル♥

ブル♥

♥

ブル♥

びく♥

びく♥

あひ♥

あひ♥



ガッ

ズブ

ガッ

ズブ

ズブ

ズブ

ズブ





一方その頃。

ベテラン護衛隊付きの温泉ランド専用馬車隊の馬車は全く可愛くない、という理由で自家用馬車で秘湯に向かった、王国某貴族の三女と数人のメイドはまぞくのとある「巣」に拉致された。

それはモンスター達の「宿」や「兵站」の役割を果たす「生きるダンジョン」である。

「ひっ……ひいイッ……」  
「ち、近寄るな軟体動物っ！  
私のむ、胸に触るなあ！」



「ぞ、そこでゴロゴロしている  
モンスター達！私達を今すぐ  
か、開放しなさい！」  
「わ、私の「ヶ月の小遣いだけで」  
町ギルドの冒険者の半分を雇えるのよ！  
こ、こんな小さいダンジョンなんて」

モンスター達は「巣」でゴロゴロするだけでHPとMPが回復する。その素晴らしい機能を維持するために「巣」は定期的に人間の精気を摂取しなければならない。つまりお嬢様とメイドさん達は生きたまま、この忌々しい肉壁のエサになってしまうというわけだ。





知能ゼロの触手にさえ出来るほど、精気を摂取する方法はいたって簡単。人間のメスの柔らかい穴に侵入してひたすら犯すだけだ。

2・3日かけてじっくり弄んで、3桁の回数でイク・イカせる。エサが全く動かなくなるまでだ。



「お嬢様、もっとなお上モンスター達を  
副激しなさい……」  
「救援は期待できません……もっと思達は  
助かりませんよ……」  
「ああ……調ね調ねるぬるのがお尻と  
オマ○コに出入りしてますり……」

「な、なにになっ何これえ」  
「いやああーやめてやめてえええ！」  
「おっお尻がーアソコがあー！  
し、死ぬっ……」  
「やめてえー殺はなさい……」

「わ、おんやーおんやー」  
「お、おんやーおんやー」  
「お、おんやーおんやー」  
「お、おんやーおんやー」  
「お、おんやーおんやー」





「だ、大丈夫です…旦那様あなたを  
教会で待たせましたから…優美  
的復活の計画は完了…」  
「復活…あの、おっするだんご様はだ  
から勝手に旦那様を殺さすや…」  
「あ…旦那様もだんごHUMAN…  
もう駄目です…すみませんHUMAN…  
ちゃんも…お嬢様と供に遊ばすです…」  
「…」

「そんなん…いやあ…死にたくない…」  
「腹がやう…お尻が…死ぬウウ…」  
「おーっ！ 旦那様もさー！ 私が悪い  
から…お嬢様も…」

マリアンナのバカッ！







「（嗚呼お嬢様……もろの本も……お可哀想だ……）」  
「（お目に入ってる触手が邪魔だわ……まだ  
ちとっとお嬢様の可愛い口びゆも噛みたいのだ……）」  
「（麻が絞られる口びゆにも聞かれますわ……）」  
「（ぐん……ぐん……のど……触手の分断地帯  
何が……）」

「（あー……口の触手は買えません……  
後部の触手は平気な顔で握り分ち……  
死なな……お嬢様……）」  
「（お嬢様は……なんかな……お嬢様……  
なんかな……お嬢様……お嬢様……  
お嬢様……お嬢様……お嬢様……  
お嬢様……お嬢様……お嬢様……  
お嬢様……お嬢様……お嬢様……）」

ズ  
プ  
ッ

チ  
ュ  
ポ

チ  
ュ  
ポ

プ  
ッ

ズ  
プ  
ッ

チ  
ュ  
ポ

プ  
ッ

プ  
ッ

プ  
ッ

わ  
く

プ  
ッ

プ  
ッ

プ  
ッ

プ  
ッ

プ  
ッ

プ  
ッ

プ  
ッ

プ  
ッ

ん  
や

ふ

ん  
や

ん  
や

ん  
や

ん  
や

ん  
や

ん  
や

ん  
や





女達の子宮・胃袋・腸に注がれたのは生きるダンジョンの精液、もとい代謝産物。ダンジョンにとっては不要な廃棄物だが、人間には栄養満点でヒール並の回復効果が有ってエンドルフィンも大量に分泌させられる。極めつけは絶大な催淫効果。主従一行は身分の区別なくエサ用肉人形と化し、感度が限界まで上がった身体はひたすら絶頂を繰り返し精気を最後の1滴まで搾取され、やがて狂喜のクライマックスの中でぴくっと動かなくなった。









国の大貴族のお嬢様一行がモンスターに襲われて汚された！

この悲報に国境D町の人々が大いに動揺と混乱…ないない、そういうのは一切なかった。女勇者を犯した上級魔物の言うとおりに、国境ではこんな日常茶飯事。「やっぱり都会の人ってバカだな」って、町娘たちの談笑のネタにしかならない。

比べれば、年に3、4回は発生する「魔物の群の町への特攻」のほうはまだ盛り上がる。毎回毎回迎撃する冒険者達にいっぱい被害が出てギルトも教会も大忙しで、ヘタすれば町の城壁を突破されて民間人の犠牲者まで出る。人呼んで「モンスター狂行軍」。





そうそう、まさにこのように、何の前触れも無く西の平原の果てにモンスターの大量軍が現れてる。  
起こってしまったのだ狂行軍。しかもこの規模…マズイ、これは「ヘタすれば」のやつだった。町ギルトは強制緊急コールを発した！戦闘力を持つ冒険者は直ちに西の城壁に急行せよ！近隣各町ギルト・教会にも至急支援要請を！



「なんだあれは…地平線を埋め尽くす  
モンスターズ!?いつもの狂行軍の比  
じゃねえぞ!」

「キラーマ●ンにトロールにびっくり  
サタ●に、ずしおう●る…アカブツ  
までかよ。」

「サイクロプスだけじゃない!上位種の  
ギガンテスまでいるんだぜ。」

「ぼーつと見てんじゃねえ!攻撃魔法  
撃ち込んで数を減らすんだ!」

「無理ですよ、  
あれを見てください……!」



「な、なんて酷いことを…!!!」

「ぐわっ…確かに昨日リンゴの村にミサを行いに  
向った、町南教会のシスター達が予定通り夜に  
帰ってこなかったとか、少し騒ぎになってたな…」

「モンスター共、村襲ってシスターや村の女達を  
犯し尽くして英気を養ったら、彼女たちを盾に  
町を攻めてきやがったということかよ！」





「つてか、キラーマン●ンってしっほのクロスボウ外したら性器か…いやぁ知らなかった。」

「多分夜通しモンスター共に輪姦されてたのによく生きてるなあ。奴らの体液だいたい催淫効果あって、朝まで百回は絶頂するのによ。」

「棺は盾にならないから優しく犯つてもらつたんじゃね？」

「いやいやギガンテス兄さんの息子はどーやて優しく犯るってんだよ。緑い髪のシスターお姉ちゃん、肉コンドームになつてるぜ。」





「あれはシスター歴5年のアマンダさん10の歳！  
なんて美しいおっぱいなんだ…って今は  
人生に「度し」かない、シスターズ的美乳を  
遠慮無く眺める貴重なチャンスでは!?」

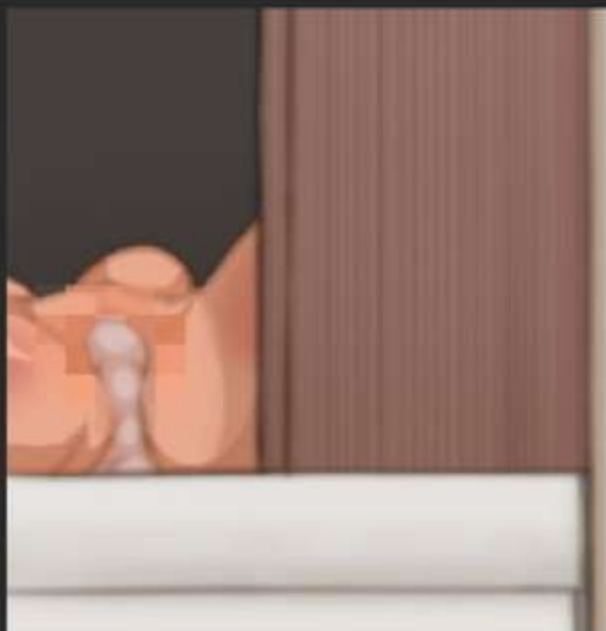
「クソッギガンテスめ！将来俺がアマンダさん  
をうまく回説いてやらせてもらっても、ガバ  
ガバな穴じやちつとも楽しくねじやねえか！  
まあやってやるけん」

「安心しろしつかり回復呪文かけりや治る。  
つかどうせこれから乱戦になつて死ぬし、復活  
させれば元通りさ。だいいちお前なんか一生  
落とせねえ！」

「貴様らいいかげん罰当たりな無駄回利くの  
やめんか！さっさと前線に出ろっ！」







激戦の最中、西南城壁のウイークポイントを突破され100匹以上のモンスターがなだれ込んだ。逃げ遅れた男達が木の棒とかで抵抗して瞬殺され、城壁付近の商店街・住宅街は一気に地獄と化した。



このモンスター共は西の城門を攻める本隊から分かれた、小さな別働隊に過ぎなかった。その敵本隊と絶賛ぶつかり合った冒険者の本隊に南を救援する余裕などなかった。戦線を維持するのがやっとという、圧倒的不利な人数を更に分散したら敵の思い壺だ。救援が来るまで城門を守り抜ける！それが正確な判断だ。侵入した別働隊は無視するしかなかった……















んがッ

びく

ああッ

あッ

ブルッ

ブルッ

あッ

びく

ズッ

ズッ







んほお♡

んっ

おっ

びく

ブルッ

ブルッ

びく

ブルッ

ク

びく

びく

ト





幸い、モンスター共は目の前の犯し放題の上肉を無視して城門の冒険者達を挟み撃ちしたり、ギルト本部や教会目指したりするほど意識高くない。やつらは人間のメスの匂いに敏感だ。樽の中だろうと屋根裏だろうと、隠れてた女は1人また1人見つかって股間に異種の肉棒をねじ込まれてしまった。犯られ過ぎて巨根に貫いたまま「ボンッ」と棺になってしまった犠牲者も何人か居たという…





熾烈を極める西の城門の防衛戦。エリート冒険者達は空に舞い上がって颯爽にサイクロプスを切り刻むほどの活躍を見せたが、多勢に無勢の戦場だけに中堅達は身を守るのが精一杯。ルーキー達に至ってはほとんど半時間も満たずに退場した。さらに不運な人は、教会直送の退場も許されなかった。



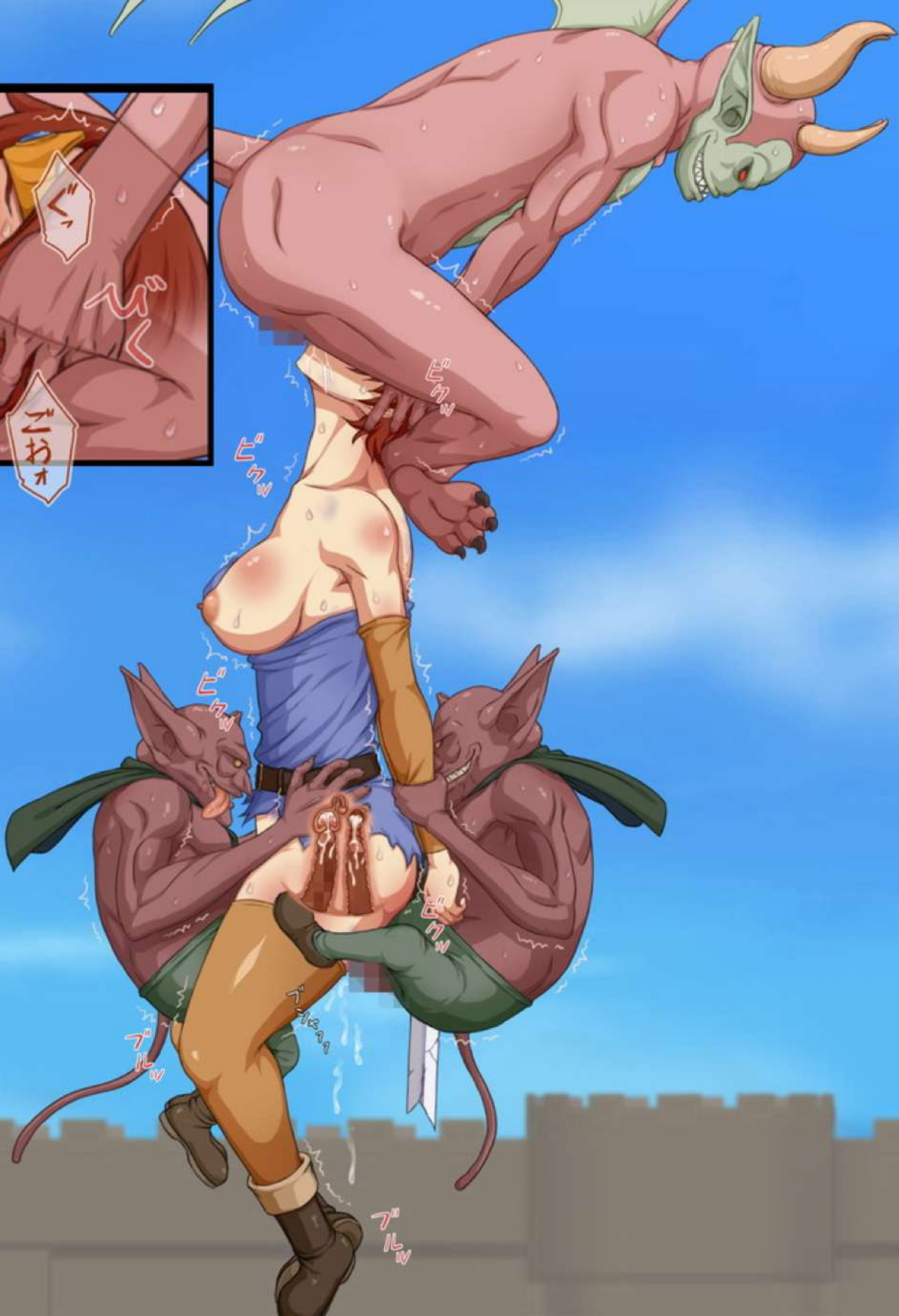


レベル5の新米女勇者の戦果はびつくりサタ●3匹・トロール2匹で止まった。レベル4に上がったがMPも体力も尽きた彼女は、ギルトの仲間達の前（というか上）で為す術もなく青姦を強要された。

真上から何か変な音してるなって見習戦士の少年が首を反って見上げた。少女の股間の2つの穴に魔物の性器が猛スピードで出入りしてる光景だった。少年は不本意ながら腰防具の下を固く勃たせた。







顔面をじごくのも●ばんの股間に力強く固定された新米女勇者は、舌の奥なので味がわからなかったが熱い精液が喉奥に注ぎ込まれるのを感じた。下半身の前後の穴も何か熱いのが入って来てる。彼女は白目を剥き、痙攣しながら青空でシャーッと漏れた。



エリート弓使いの一撃がなければ彼女はもんばんさんのN発目の  
精液を飲むことになってた。地面に落ちた勢いでサンタの硬い  
龟头に子宮と直腸の奥まで直撃され、ピクピクと気絶しまった  
レベルメ女勇者だった。





西の城門からちよつと離れた場所にもう一つの青姦ショーがあった。攻城戦でやる気が出ない、気まぐれな上級魔獣とレベル∞の見習僧侶だった。殺伐した戦場と比べれば、木の下での背面座位異種間セックスも若干穏やかな光景と錯覚させられる。

※混乱でありもしない呪文を詠唱し始めてる

アリアライ  
……!!

ち、  
腔内清浄呪文

ゲルルル

モミ

モミ

ガクッ

ガクッ

ズ  
ズ  
ズ

ズ  
ズ  
ズ

ズ  
ズ  
ズ





後列で援護に徹すればよかった。前に出過ぎたから、あじけない戦場をサボって「トイレ」でも行きたくなったこの魔物に攫われ、野戦トイレの喚く便器になっちまったのだ。人間のメスのその感触が気に入ったのか、ブレ●ズホーンは無骨な指で柔らかな脂肪の塊を揉みまぐる。その肉棒も神の僕の股間を遠慮無く突きまぐる。胸と股間の刺激で女僧侶は二回目の絶頂を迎えた。

「ああ神様、このしもべの無様な姿を見ないでえ」





妊娠・授乳の経験がないのに、女僧侶さんの豊満な巨乳はブレ●ズホーン  
の握力に耐えられず遂にミルクを大量に噴出する。膣内清浄呪文(?)での  
抵抗もむなしく、大事な所を魔物の精液で汚された。色んな意味で限界に  
達した女僧侶さん、なんかヤバいことを呟いて始めた。



あゝ  
お兄様

お父様

ち、  
チンチンやめて

口以外は

グール  
グールル

ドクン

チュ〜



この割りりとレベルが高いブレ●ズホーンは、今回のモンスター軍勢の最強戦力トップには入るらしい。レベル∞の女僧侶二人でそれを戦場から脱退させたなんて大したものだ。人型便器として延々と魔物の肉棒に種付され続け、悶絶昇天を繰り返しの回目の射精と共に力尽きたことは決して無意味ではなかった。

んほおお

お兄様  
だめーは

オマ●コは  
なしーて

※7回目の時点の様子

ブルッ

びく

コポポ

ブルッ

びく

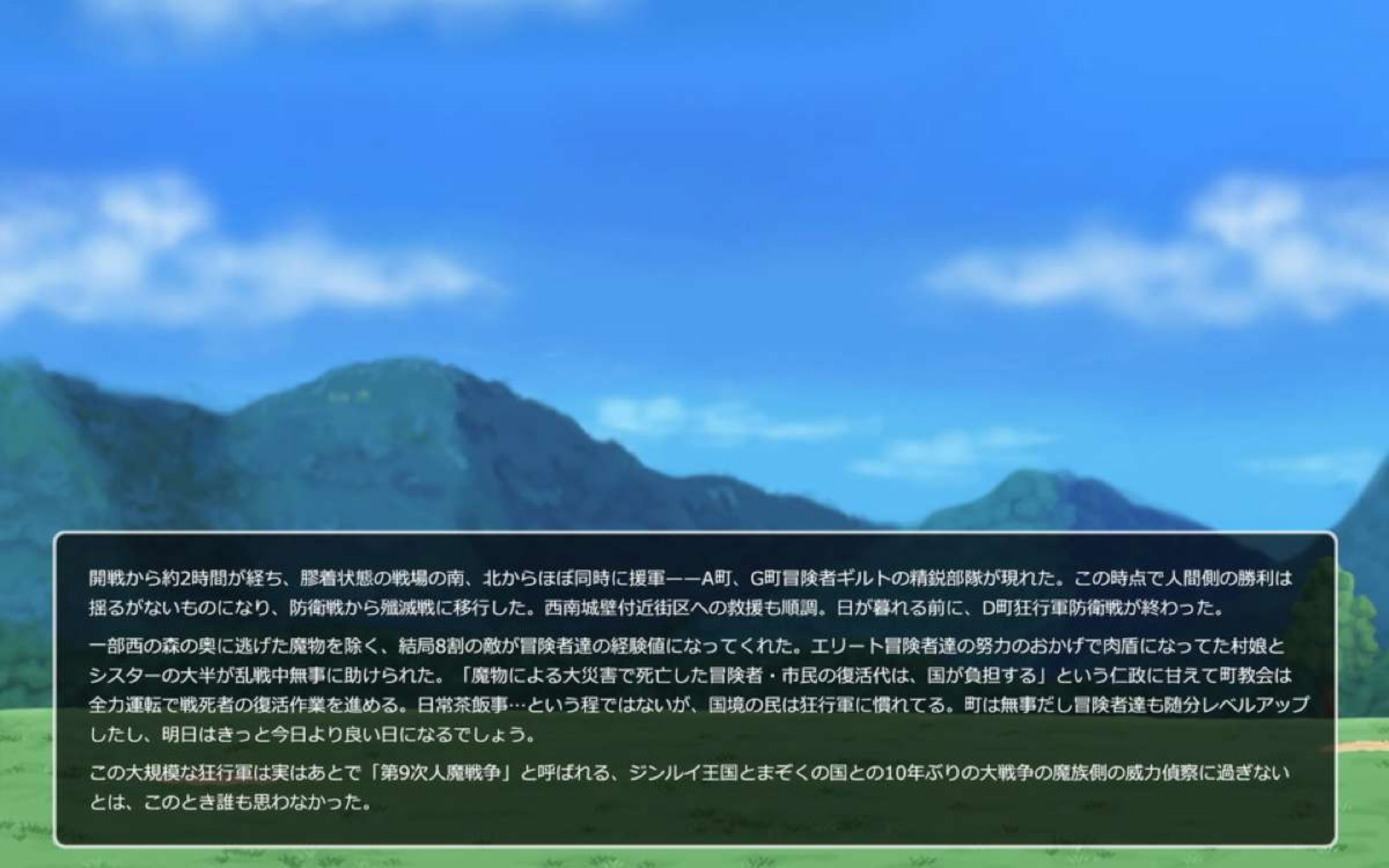
びく

びく

ドロ





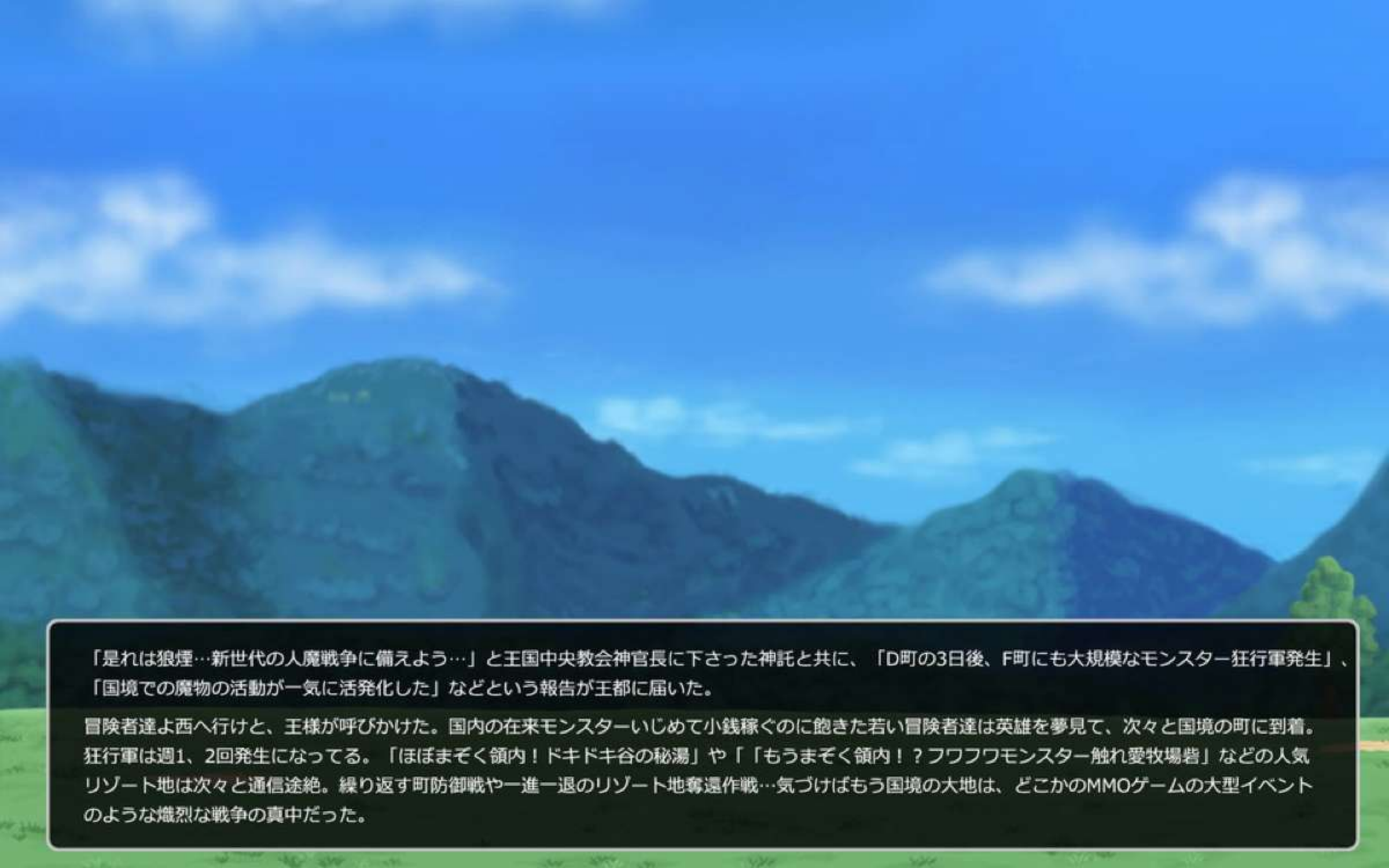


開戦から約2時間が経ち、膠着状態の戦場の南、北からほぼ同時に援軍——A町、G町冒険者ギルトの精鋭部隊が現れた。この時点で人間側の勝利は揺るがないものになり、防衛戦から殲滅戦に移行した。西南城壁付近街区への救援も順調。日が暮れる前に、D町狂行軍防衛戦が終わった。

一部西の森の奥に逃げた魔物を除く、結局8割の敵が冒険者達の経験値になってくれた。エリート冒険者達の努力のおかげで肉盾になってた村娘とシスターの大半が乱戦中無事に助けられた。「魔物による大災害で死亡した冒険者・市民の復活代は、国が負担する」という仁政に甘えて町教会は全力運転で戦死者の復活作業を進める。日常茶飯事…という程ではないが、国境の民は狂行軍に慣れてる。町は無事だし冒険者達も随分レベルアップしたし、明日はきっと今日より良い日になるでしょう。

この大規模な狂行軍は実はあとで「第9次人魔戦争」と呼ばれる、ジンルイ王国とまぞくの国との10年ぶりの大戦争の魔族側の威力偵察に過ぎないとは、このとき誰も思わなかった。





「是れは狼煙…新世代の人魔戦争に備えよう…」と王国中央教会神官長に下さった神託と共に、「D町の3日後、F町にも大規模なモンスター狂行軍発生」、「国境での魔物の活動が一気に活発化した」などという報告が王都に届いた。

冒険者達よ西へ行けと、王様が呼びかけた。国内の在来モンスターいじめて小銭稼ぐのに飽きた若い冒険者達は英雄を夢見て、次々と国境の町に到着。狂行軍は週1、2回発生になってる。「ほぼまぞく領内！ドキドキ谷の秘湯」や「もうまぞく領内！？フワフワモンスター触れ愛牧場砦」などの人気リゾート地は次々と通信途絶。繰り返す町防御戦や一進一退のリゾート地奪還作戦…気づけばもう国境の大地は、どこかのMMOゲームの大型イベントのような熾烈な戦争の真中だった。





国境出身の駆け出し盗賊・ミナミと王国第二魔法学園卒業生の新米賢者・アリサは一週間前から勇者（男）・戦士（男）とパーティーを組んでA町を拠点にいい調子で冒険していたが、今日の「第二回ドキドキ谷の秘湯奪還作戦に備えてレア薬草\*5を採取しろ！」ってクエストで失敗して男の野郎共をモンスター達に殺され、女2人は生きるダンジョンに連れて行かれた。





「ま、ミナミさんはさきの戦いで…きめんエ○Jのメタ○ニを受けた  
でしょう田あ、あれは稀稀に女性だ…ま、「ふたなり化」の効果  
がある…」

「ま、さすが賢者さん物知りだわ！つまり私イ混乱呪文の被害者でねH  
オマ○コで触手睡えながらチ○ポで賢者さんのお尻犯したくなるのも  
仕方ない事っ！」

「USエ…この場合呪文の魔力の半分は…「副作用」で消費したはず  
です…混乱効果は不完全…なんだから…しりかり…」





「そんな…実直善良な私が半端な混乱呪文で仲間のお尻に発情するわけ無い  
わ…いや全部メダ○ニのせいだよ私混乱中！ええいもう黙って腰振れえ！」  
「ああ…「スケベな女性ほど副作用が出やすい」って本当なのね…ここ数日  
のお風呂…私の完璧な肉体がミナミさんの劣情を催しちゃいましたのね  
きつと……」

八一ガール

「ほ、本当にそうかもよ…賢者さんって元遊び人だけあってすっごいイヤラシ  
イボテイしてるの…ああバニ…服の賢者さん犯りたいイ……!!!」

「ち、違います！私元僧侶よ！優等生で魔法学園から借りの書買りましたのー」





「あれえ？賢者さんイツちゃたの？元聖職者の癖にふたなり盗賊の劣情チ●ポに…ケツ穴掘られて感じちゃったの！！」

「そ、そんな事ありません！私ちゃんと性器で…魔が触手に犯される性的快感で絶頂したのです！それにこんな無様な姿を晒しても…私今だって聖職者なんです！」

「…、肛門は一応性感帯であつて…ミナミさんのチ●ポである程度…快感を得てるのは事実ですけれど…貴女が射精しない限り…多分私お尻でいきますん！」





私の○  
便女に○  
な○て

オマ○コにチ○ポ

「フンっだ 実を言うと私は…貴者さんのオマ○コ犯したいんだ  
わぁ…あのクソ邪魔な触手が離れる瞬間…あんなのマ○コにチ○ポ  
ぶち込むからね…」

「そ、そうして…私だっ…魔物の性器より貴女のニセチ○ポ  
の方が…倫理的にSですッ…」

「それに…スケベな貴女が満足するまで射精させないと…混乱は治らない  
かもしれません…」

「わ、分かってるじゃないか賢者さん…！治らなかつたら町に帰って酒場の  
受付嬢ちゃんでも…路地裏に連れて行って犯しちゃうかもよ私は」





駆け出しの女冒険者はみんな弱い。モンスターに無惨にレ●プされて心折れて再起不能になった人が数えきれなかった。が、スケベ女盗賊とナルシスト女賢者はその失敗の後見事に傷心に打ち勝って国境の大地を冒険し続け、9年後の第10次人魔戦争で「救国の英雄」と呼ばれるほど成長を見せた。

結局女盗賊さんは女賢者さんのオマ●コを犯したか、ふたなり化治ったか、町の酒場の受付嬢ちゃん犯したか……それはまた、別の話。





「ドキドキ谷の秘湯」は開戦早々、商人ギルドの護衛部隊がまぞくの国の中央軍に蹴散らされ、魔族の前線拠点と化した。秘湯に居た人間…つまり護衛部隊隊員、秘湯の客に従業員は生還不可能。彼達の棺は最寄町であるD町の教会に次から次へと転送されたが、全員ではなかった。男の棺は殆ど陥落から30分以内に現れたが、女性のは3日経っても半数しか転送されなかった。





女達は捕虜になって魔族に輪姦されてる…ってのは当たり前前で復活した人に聞くまでもなかった。おかしいのはサイクロプスなど、射精1発で並の女をピクピクと白目剥いてショック死させる大型のモンスターが多数居たのにこの死亡ペースはあり得ない。D町狂行軍の時から人間達は薄々気づいていた。どうやらモンスター達は冗談抜きで本当に「人間の女を優しく犯し方」を会得したようだ。



魔族の賢者が新しく開発した肉体改造呪文でモンスター達のチ●ポが鎮痛・中絶継続回復効果のある液体を分泌する事が出来るようになった。それでもサイクロプス一族に関しては力加減とか挿入角度とか「慣れ」が必要だ。まだ慣れていないこの「サイクロプス」くんはすでに秘湯の若い仲居さんを心人、一発だけで教会へ直送した。なあと訓練用の捕虜はまだたくさん居る。慣れるまでやればいい。







黒い肌の踊り子さんはサイクロプスロくんと交尾させられる前に一晩、ビッグサイズ張型を6本もオマ●コにねじ込まれっぱなしで放置されてた。彼女は6本目が入る時死んじゃう死んじゃうって泣き叫んだが、今はむしろあのサイスの張型が恋しくなってる。おぉ〜辛うじて膣の入り口を龟头全体が通過した。

ちなみに踊り子さんに双子の妹さんがいて、今は占領軍中ボスの個室のベッド上で通算16回目の絶頂を迎えている。



でかしたぞサイクロプスロくん。失敗から学習してようやく肉オナホーとのセックスのやり方を会得したじゃないか。ポテ腹というより肉コンドームになってる踊り子さん、呼び狂いながら正気を失いつつある。ロくんの二回目の射精まで踊り子さんは何回か二回か、というより生殖器周辺の筋肉が狂ってしまっつてもうすつとイきつぱなし状態。小便漏れすぎて膀胱が空っぽになつても尚、前立腺が大量の潮液を噴出し続ける。





サイクロプスロくんは占領N日目の昼の部の交尾練習だけで、捕虜の中でもクオリティが高い肉オナホーを人々もころ……消耗した。練習相手にN回射精するたび代わりて犯っても流石にN回位やったら失神し、それでも構わずやり続けてN回位でボンッと力尽き。最高記録はN回かな？ 勿論棺化までは悶絶昇天、気絶と目覚めを繰り返した。







王国以外にも色んな小国がこの大陸に点在し、それら出身の冒険者達もこの熾烈な人魔戦争に参戦している。王国のエリート冒険者達の戦い方を見学できるし、何よりもぞくの国の上級魔物の経験値は自分の国の在来モンスターより遥かに美味しいのでハイリスク・ハイリターン。が、やっぱりリスクがハイ過ぎだったかもしれない。修業のためにとある北の小国から来た若い王子と王女は、レベル75の「ギタイスライム」に挑むも見事に打ち返されて洞窟の中で悶絶している。



ひい

やめてえ

「お、お兄ちゃん!?  
ギタイスライムの  
メダパニは人に...自分の  
妹のお尻の穴に...お、お  
ちん●んを入れさせるつ  
て効果なの!?!」

「つて...ていうか  
お兄ちゃん!スライム  
はお兄ちゃんにギタイ  
して...私の股間の...  
お兄ちゃん股間に無い  
あの穴に...おちん●ん  
をつ...!」

「こ、これがモンスター  
の「ゴウカン」...なの!?!  
す、すごい変な感じ...  
お尻の穴もあの穴も...  
お兄ちゃん達の...太い  
おちん●んでいつぱい...  
ああつだめえ...は、激し  
いイ...もう変になっちゃ  
うよお兄イちゃん...!!」





「(ううっ：我が妹、あいつも変わらず性の知識ゼロに等しい：前からその無知さを利用してお尻でもいいから一回おちん●んを入れたいなつて俺の邪念が：メダパニの効果と相乗して気付いたらもうこのザマ：！)」

「(つていうか俺思考が出来てるつてことは、もうメダパニ解けたのか：!?でも今死んでも絶対対、妹の肛門から抜きたくないのはやっぱり混乱がまだ効いてるの?)」

「(うん：きつとそうだが簡単に解けるはずがない：犯りたいから実の妹のお尻を犯つてるわけじゃあない：今の俺はこいつの：愛しい妹のオマ●コを侵入し、処女を貫つた「黒い俺」の操り人形に過ぎないんだ：！)」

んっ

ビクッ

あっ

ビクッ

はあっ

ガクッ

ガクッ

パン

ズブ

ズブ

ズブ

ズブ

パン





あゝ

あゝあゝ

ビクッ♡

ビクッ♡

お  
お兄ちゃん♡

ガクッ

ガクッ

「お、お兄ちゃん…  
多分まだ正気に戻って  
ないけど聞いて…  
私イ…お兄ちゃん達の  
おちん●んに…段々と  
慣れてきたかも…」

「なんか…なんか…ああ  
すごい…」

「今…黒いお兄ちゃん  
ので…あそこがぎゅ  
つと…すごい…  
すごい…」

「すごい気持ちいいよ…」

「(おお妹を)回遊されたかスライム！  
でかした…って俺なに考えてんの！！  
で、でも絵面じゃ兄弟同士のロミオ  
なものなんだからこれはこれで…」

パン

ズ  
ブ

ズ  
ブ

ブ

ズ  
ブ

パン





ひ

何これ

熱くて  
濃いのが

「ああお兄ちゃん達…  
こんなの…こんなの  
されたら私イ…♡」

「(うおお…俺、グラン  
パ○ア王子は妹の肛門に  
射精する…という夢を叶  
ったんだ…もう人生やり  
残したこと…)」

「(…いやある…この黒い  
俺に土下座しても今日は…  
なにがなんでも我が妹の  
オマ○コに「発を…」)」







それが金髪兄妹のこの冒険で初めての、そして最後の全滅。「黒い俺と交替で妹の前後の穴をひたすら犯していたら妹がぼんっと棺に。そしたら黒い俺が黒い妹になって…嗚呼俺としたことが…でもそれはそれで……！」by王子さんの日記。その後も毎日のように洞窟・夜の町の路地裏・宿屋の部屋などで「メダパニのリハビリ」と言って妹にあれこれを強要してたことを記したこの日記は勿論、王子は墓場まで持っていく。





説明する必要がないかもしれないがこの世界にいる勇者は一人だけではない。素養がある人なら冒険者ギルドに登録する時誰でも職業として「勇者」を選べるし、昔から様式美とか言って「ワンパーティワン勇者」はほぼ定石。冒険者の花形と言われるが勇者達はみな、世界を守り人々の笑顔を守るという大志を持っているとは限らない。





「やれやれっこんな町に近い農園にもモンスターが襲ってくる  
とは：ソロ勇者の僕がいなければ母娘仲良く子宮回が丸見えるよう  
になるほど犯されちゃうぞ。」

「本当はこんな形で報酬をもらうつもりはなかったが…「鑑定」で  
「未亡人」「○歳処女」と分かったらもうね、息子が鎮まれなく  
なっちゃったよ！まあこの世界の民間人をレイプするのは初めてじゃ  
ないけど。未だに心のどこかで仮想現実オーブンワールドゲームかな？  
と思って罪悪感が薄くなってるからかな……」





「僕はさあ「召喚勇者」なんだ。モンスターを討伐したりクエストをクリアしたりしたら「帰還ポイント」を貯められ、二万点貯めたら持ち物の中最も価値がある二品の究極と同額の日本円をもらって元の世界に帰還する事になるって天の声がね。」

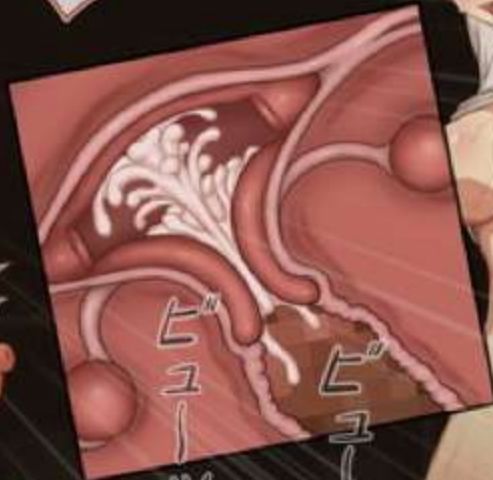
「あっという間にレベル10になった僕にとって二万点なんてどうにもなるけど、拳サイズのダイアモンドでも手に入るまで帰るわけなくない？さっき娘さんのオマ○ヨに種付したときポイントが100点減少したよ。僕はこうやって「時間稼ぎ」するんだ。僕の経験じゃ奥さんに中出ししたら600点ってところかな？」



「いやあ、娘さんのオマ○ヨすこい締め付けて来て気持ち良かったけど、奥さんのピチヨピチヨオマ○ヨもスムーズにやれて最高だったな！おぉ来るぞ！そろそろ未亡人の巨乳農園主さんの子宮に種付しちゃうぞ！」  
「これで終わると思うなよ？僕の予定では奥さんに出したら娘さんのカワイイお尻にするからな…！」







「出たっ出たあ！娘さんのお尻に入る前にちよっと  
休憩！でもどうせ奥さんのお尻も犯る予定だから  
次は娘さんの口かオマ○コにするのもありかな？  
迷うわ〜」

「同じ相手じやろ発目から斬のポイントしか減らない  
からたっぶり付き合ってもらうぞ！まあ安心しな、  
散々満足したらロープで絞め殺すほど外道にはなっ  
てないんだ。でも「直近は時間分の記憶喪失呪文」は  
かけさせてもらおう…お互いのためにも……」





「召喚勇者」とはこの世界の神様の気まぐれ。先に言っておくが彼らは皆、とある青い惑星の極東の島国の出身なわけではなかった。人魔戦争が起きる度に色々な世界から色々な人が、神様の気まぐれで「召喚勇者」としてこの世界に召喚される。別にそうしてもらわないと魔族に負けるほど、人間側は苦戦を強いられてるわけじゃないのに・・・



やめてメ

こ  
降参よ  
私たちは

びく

びく

ヌル

ヌル

キュポ

キュポ

ヌル

ブル

ブル

ブル

ブル

「ああ嫌ですわ。。。同じ世界出身の知り合い同士だからと言って、勇者職だけでパーティーを組むんじゃないやありませんでした。。。まさかこの王女メ●ス様の前後の穴が、変なビッグスライムのオモチャにされる日が来るとは♡」  
「フフ。。。にしても眼福ですわ。。。忠義と礼節を重んじる護国の巫女様と、息子と夫の事しか頭にない巨乳妖怪さん、とってもいいサマになってますわ♡」  
「これからの人の穴という穴はどれほどガバガバにされるのか、楽しみてしようがないですわ。。。勿論私、メ●ス様も平民達に負けないような立派な受難の姿を晒しなくちゃ♡」





「つなんと。。。乳首に針のような器官で強制侵入ですって!? スルい。。。私や  
巫女さんの乳乳など眼中にないというの? なんて巨乳妖怪さんだけにあんな、  
忌々しいほど素敵な行為を。。。!」

「刺された乳はこれからどうなりますか。。。恐ろしすぎて想像するだけでギョッ  
と失禁しちゃいそう! いいえもう漏らしています! 高貴な私の腫とお尻に侵入した  
触手が、あまりにも乱暴に責めてますから♡!」







「あぁー身体裂けるッ。。。括約筋の悲鳴が聞こえます。。。経産婦のおばさんなんてどうでもいいけど私と巫女さん。。。気高い処女(人)の身体をどんな風に壊してくれますかな♡」

「にしてもやはり気のせいじゃなかったですわ。。。私達の淫猥な穴を完全に支配したスライムの性器が。。。前よりずっと太くなってますッ。。。!!!」

「嗚呼目を疑うッ。。。人間の乳が。。。犯す為の第④の穴にされてますわ。。。！なんて醜くて美しい光景なんてしよう！これこそ異端。。。太陽神の光すら届かない闇。。。！巨乳さんの歪んだ顔に牝犬のような喘ぎ声。。。恐怖かしら、それとも狂喜かしら。。。♡」

「あひい」  
「もう。。。ひと思いに」  
「殺して」

「あひい」  
「殺して」

「あひい」  
「殺して」

「あひい」  
「殺して」

「あひい」  
「殺して」





んほぢ

おほオ

めくら

「この人、腹が触手の形になった哀れな王女を見て心の中であざ笑っているんでしょう……  
墮ちる所まで墮ちた肉便器同士、仲良く最後まで……喚き狂いながら壊れましょう♡」  
悪夢の光景♡」

射精機能がなければととても親切なスライムだった。獲物が絶頂に達するたび、奴はチ●ポ持ちの大型モンスターの射精の真似事をしてあげる。触手が子宮の奥まで一気に突き上げ、河豚のように膨らむ。なぜか絶頂を重ねると回りに侵入した触手は消化器を通ってお尻から出る。徐々に身体奥に滑り込んでくるのを感じて巫女様、あまりの恐怖で失禁が止まりませんでした。

「これだあ、これですわ……。王女の威光も戦士のプライドも何もかも砕き尽くしてくれる、

「人もの、腹が触手の形になった哀れな王女を見て心の中であざ笑っているんでしょう……  
墮ちる所まで墮ちた肉便器同士、仲良く最後まで……喚き狂いながら壊れましょう♡」  
悪夢の光景♡」





この人

「とある貴族三女の馬車隊全滅事件」で力尽きるまで下級魔物に犯された新米女戦士には美少年の弟（違うパーティーの戦士）がいる。「あんなんで処女喪失なんて姉さん可哀想に・・・俺なんか前日ギルドの先輩受付嬢さんで童貞卒業しちゃったけどね♡」と姉を優しく慰めてた彼は数日後、仕留め損ねた魔物の「性転換呪文」を受けて姉と瓜二つな女（というよりふたなり）戦士に変身。

「あらあら可哀想に・・・仲間の変な視線に耐えられなくてパーティーを抜けるんだって？私の予備の防具あげちゃうからソロクエストでもやって行きな♡ 呪文解除できるまで処女捨ててられたらいいなあ♡」と姉に力強く励まされ、呪文解除を目指して改めて冒険を始めた彼だが・・・



案の定ビッグスライムに負けて処女喪失の危機に直面してる。  
そもそも人魔戦争の真中に新米冒険者（しかも♀）がソロで冒険に  
出るなんて正気の沙汰ではなかった。

ちよっ

待って

男だぞ  
俺は

ビクッ

ビクッ

ブルッ

ブルッ

ヒキギ

ギギ

ボクはマ

「ぐっ……あのクソ姉っ、胸鎧がこんなにキツイ装備を押し付け  
やがって……ちよ、ちよっ」とスライムさん何間違ってもあつ、あそこ  
に入るんじゃない！せっかく「やっぱりまともな人間でありたい」  
の決意でパカ姉の餓別のオナニー道具を捨ててきたのに……」





「つうう……。チクショーっ……。モンスターってやっぱり入るんだ……。特にスライム系は……。」  
「っひ、ひい……。俺のより大きいやつが……。新しく生えた器官の入り口に……。」  
しぎゆう

ひい

姉ちゃん  
助けてエ

ブル

ビク

ブル

ビク

ビク

ビク



好事家な少年だったから実は分かってる、軟体系のこれからの一般的な段取りを。肛門を留守にしたりする事はまずなくて、N穴の括約筋が馴染んだらブニブニチ●ポの太さもどんどんアップ。ふたなりの場合男性器も責められてしまうし持久戦になったらお尻から回まで貫通されたり……。分かってはいるが今はあえて考えないだけだ。

©2014 GUST



「んおおおおあつっ♡」  
「ばばばバカなっ。。。射精はっつと、止まんない。。。あのドピッチ  
受付嬢のお姉さんのオマ●コより気持ちいいかも♡」



直腸を掻き回される快感と子宮回を叩かれる快感と豆を責められる快感  
とプリプリ擬似フェ●チオの快感と、内部からの前立腺ガチマツサージ  
の快感の相乗効果で少年は射精しまくる。「モンスタァって性別なんて  
気にしない種族もいるし、なぜか人間の顔の美醜も分かるから、男だっ  
てお前のようなカワイイさんならそのうちにお尻の処女奪われちゃうぜ。  
スライム相手の場合は前後責めの射精祭り。。。なんちゃって」と元仲間  
に忠告された事があるが、スライムXふたなりの場合はそんな生ぬるい  
ものではなかったのだ。

なんちゃって





神様の悪戯なのか、~~少女~~少年は絶頂の果てに「スライム使役」というエクストラスキルを授かった。スライム（というか自我がないモンスター全般）と性行為を通じて絶頂しまくると発動し、対象のレベルと関係なく超高確率で相手を「いつでも召喚できる使魔」にする。「サブ職業・魔物使のソロ専ふたなり女戦士」はのちに英雄になった。「そういえば呪文解除の方法見つかったの？っていうか努力してんの？」と彼は時々、姉やドビッチ受付嬢さんにかからかわれるがそのたびにち●ポを以って制裁黙らせた。





当分終わりそうもない人魔戦争。まぞくの国の前哨基地の一つであるこの「愚者の廃街」は今日も新しい歩く肉塊が何十人補充された。大きい拠点だけあって肉塊の消費も激しいからな。



ドキドキリゾートシリーズ並にまぞくの国に近いこの街は、遠い昔「人類の町を作ったら魔族共の国境線は自然に後退するでしょう」と思い込んでた、とあるバカな貴族様が大勢の錬金術師を使って一夜で作り上げ、2日で魔族中央軍の攻撃によって陥落したという。ゴーストタウンと化したこの町は、高レベルの冒険者パーティーがたまたま無料宿屋（ラブホとも言う）として利用するくらいの存在だったが、人魔戦争が起こる度にどちら側に再利用されるらしい。今回は魔族の人間肉穴牧場だ。







んほあっ

88分の散歩  
コースで

絶頂二回目ス

パフ  
パフ  
パフ

ビク  
ビク

ブル  
ブル

ズプ  
ズプ

キュポ  
キュポ

キュポ  
キュポ

ブル  
ブル

ア  
ア

グ  
グ

ジュポ  
ジュポ

ジュポ  
ジュポ

ジュポ  
ジュポ

NSFW



名家ア●パート家のお嬢様・肉穴番号1637  
飼育3日目  
オマ●コ 78回 (縛り具合A+からB-に落ちた)  
肛門 46回 (A~D)

穴の縛り具合は「小型魔物非推奨」になったが精神崩壊の兆候無し。体力もまだグリーン。4日目まで生き残ることが出来れば全回復魔法かける優値があるかも。

イチゴ村の村長・肉穴番号1799  
飼育初日  
オマ●コ (縛り具合A-)  
肛門 (A+)

「気絶のままの交尾は3回まで」を厳守し、張型(回復効果付き)を入れて一旦休憩。

大富豪ルド●ンの娘・肉穴番号1791  
飼育初日  
オマ●コ (縛り具合S+)  
肛門 (A+)

修道院出身なので壊れるまで半日も持たないではないかと、体力も明日まで保つか怪しいので精神崩壊・死亡など気にせず、不眠不休で極上穴をガンガン責めるのがお薦め!

国境風装束のLv9女勇者・肉穴番号1625  
飼育4日目  
オマ●コ75回 (縛り具合A-からDに落ちた)  
肛門96回 (S~A+)

人間の身体の防衛機制による幼児退行・感情鈍化が昨日から始まっ・・・一言で言うと壊れた。体力もレッドになったので午前中に棺になっちゃうのではないかと。ザ●ガスBさんは本当にガバガバ穴好きだな。



肉穴番号1637、  
飼育56日目  
に釈放



※ア●パート家のお嬢様  
飼育53日目のご様子

お金持ちさんの娘などを奪還するために、そこそこの頻度で冒険者が侵入してくる。その過半数が失敗して逆に新しい肉穴番号になるが、Lv99のやつが牢屋外で放牧中の肉穴を攫って来たらどうしようもなかった。特定の対象じゃなく無差別に攫う・・・と言うより顔やスタイルで選ぶ・・・ってやつもたまに現れる。どいつも覆面。

奪還されたのではなく飽きて釈放したのは番号1637が初めてだ。牧場の幹部全員と知り合い（ア●肉関係）になって毎日6時間のノーセックスタイム・風呂付き個室での8時間睡眠まで承認された。「今後は出入り自由だ。また遊びに来てもいい」と基地長が言ってたが、本当にたまたま遊びに来ていやがる。

カンスト





ジンレイ王国の第4王子（勇者Lv47）と東の小国ムーンブ●クの王女（賢者Lv10）とのパーティーが中級者向け狩り場で行方不明に！王子の政略結婚のご相手を接待する冒険ツアーなのになんたる失態だ。近くにいる評判のいいパーティーに緊急救援要請を出した。万が一でも王女が魔物に汚される事を阻止しなくてはならないのだ。



第4王子ってことは次期王になれる可能性はゼロではないわけだ。王国では妻の侍女との露通が貴族の嗜みで、あの侍女団を見てから彼は結婚後の性活を妄想しまくってた。

\*メダパニを受けてる

「貴族三女事件」でヒゲヤギの魔物に処女を奪われた田舎出の新米女勇者。わずか数ヶ月でLv60まで成長し、あの魔物に見事リベンジを果たした実績でパーティーの評判を上げた。

ジンレイ王国のお菓子大好物なのでこの婚約に不満はない。ドロドロ系小説愛好家である彼女は清纯系・色気系・ロリ系侍女を一人ずつ厳選して王国に来た。







おほオ

王子様の  
生手・ポ

「んっ……最速で救援対象を発見したと思ったら、汚されちゃいけないという王女はもう……これ以上ないほど汚されるっ……」

「王子様は筋力がカンストした筋肉マニアで開けたけど……このLv63の私が全く抵抗できないなんて……しかもこの馬並の男根……！王女さんはこれから毎晩大変な事になりそう……まあ今のサイトロプス性器2本より大変にはならんわ……」





「(メダバニ中)おお。。。清纯系侍女さん、安産型のデカ尻だった。。。この初物のオマ○コなまらん！花のお世話が大好きだって？なら今度は夜の花園で。。。」「この。。。パカ王子様。。。残念っ 私のマ○コはもうとびげヤギの魔物や。。。仲間のふたなり弟の性器の形になってる、中古品ですけど。。。」「(メダバニ中)おお。。。巨乳侍女田さん、前も後も回もけゆるんだな！いや多分乳首の穴も開発次第で。。。」





死ぬ

女勇者  
また死ぬじゃん

「(メダバニ中)おおお。。。下級貴族出身の侍女◎さん、世間知らずロリ  
だった。。。なら張道ぶち込み首輪つけの全裸散歩は王族侍女の日常である  
事を俺が教えなきやー!」  
「くっ。。。もうだめ。。。力入らないイ。。。パカ王子様のアカチ●ポに殺さ  
れるっ。。。田ま、またなの? 魔法師さん田」

ビクッ

ビクッ

ブルッ

ブルッ

ドクン  
ドクン

ビクッ

ビクッ

ビクッ

ズプッ

チュポッ







※私が仕留めました

魔物殲滅呪文一閃。女勇者が自分の肉穴を使って時間稼ぎをしたおかげで、王子とその婚約者は無事救出。王女の下半身にヒーリング魔法をかけまくって元通りにし、「犯される前に救出したから、汚されていない」と報告したら疑ってくるアホは1人も居なかった。

約10年に1回の人魔戦争は、その世代の冒険者を育てるのだ。開戦前平均レベル5だったこのパーティーは開戦1年後、平均レベル65のベテランチームとして魔王親衛隊と交戦し、英雄達対魔王の決戦を見守った。さらに10年後の第10次人魔戦争の決戦には、全員レベル99になり仲間のふたなり弟や変態女盗賊・女賢者も吸収したこのパーティーが挑むのだ。



ご購入 ありがとうございます!

- 本商品の登場人物は全て18歳以上の年齢です。
- CG集の著作権はサークル「SR 淫魔ノ森」とCG製作者にあります。いかなる理由でも著作者に無断で転載配布等の行為はご遠慮ください。
- 本作品は成年向けです。18歳未満の方の閲覧はご遠慮ください。
- CG集閲覧において発生した障害に関して著作者は一切責任を持ちません。

当該条件に同意できない方は閲覧をご遠慮ください。

<http://www.pixiv.net/member.php?id=907181>

<https://twitter.com/inmanomori>

(殆どつぶやいていません)































































































































































































































































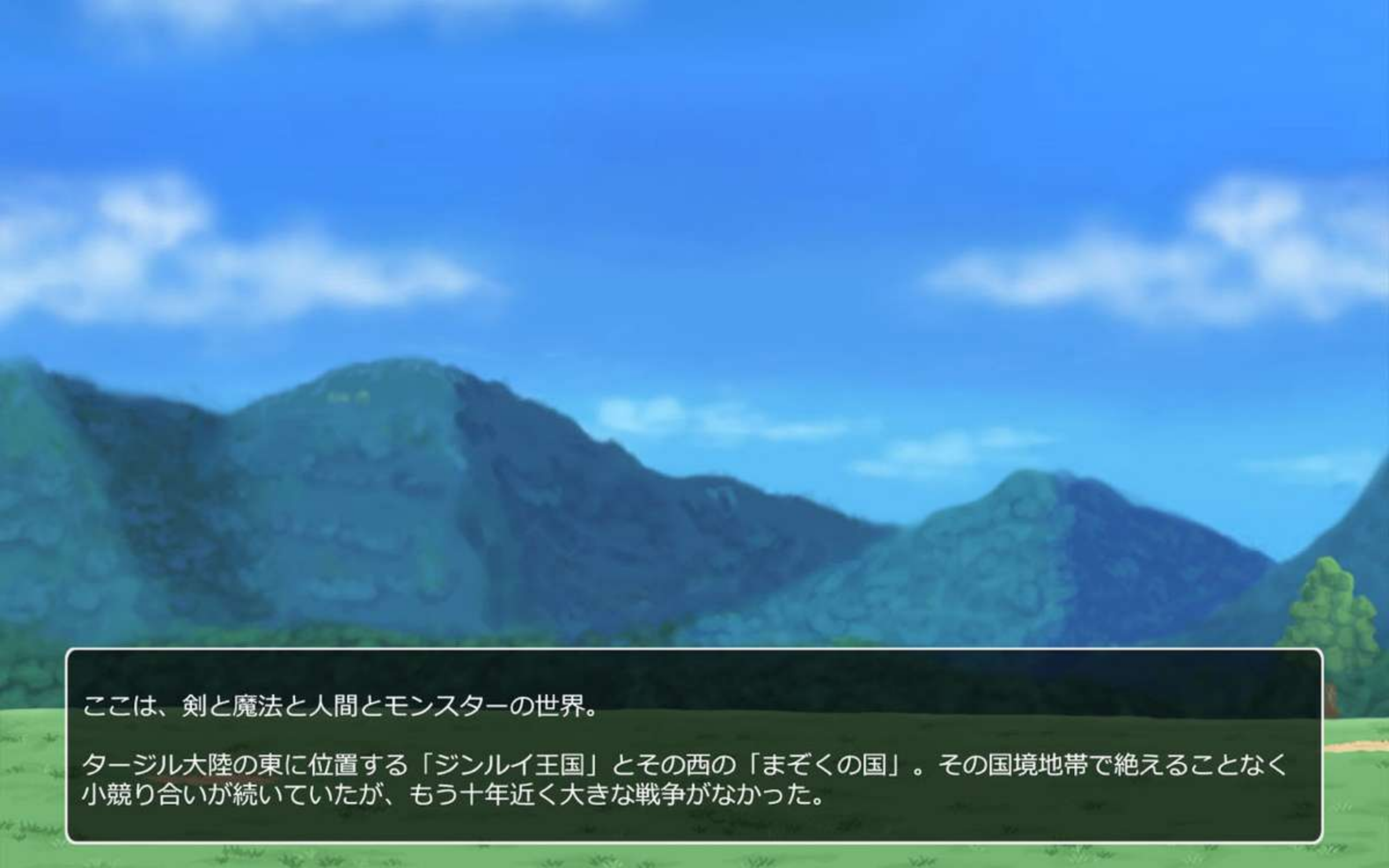






※私が仕留めました

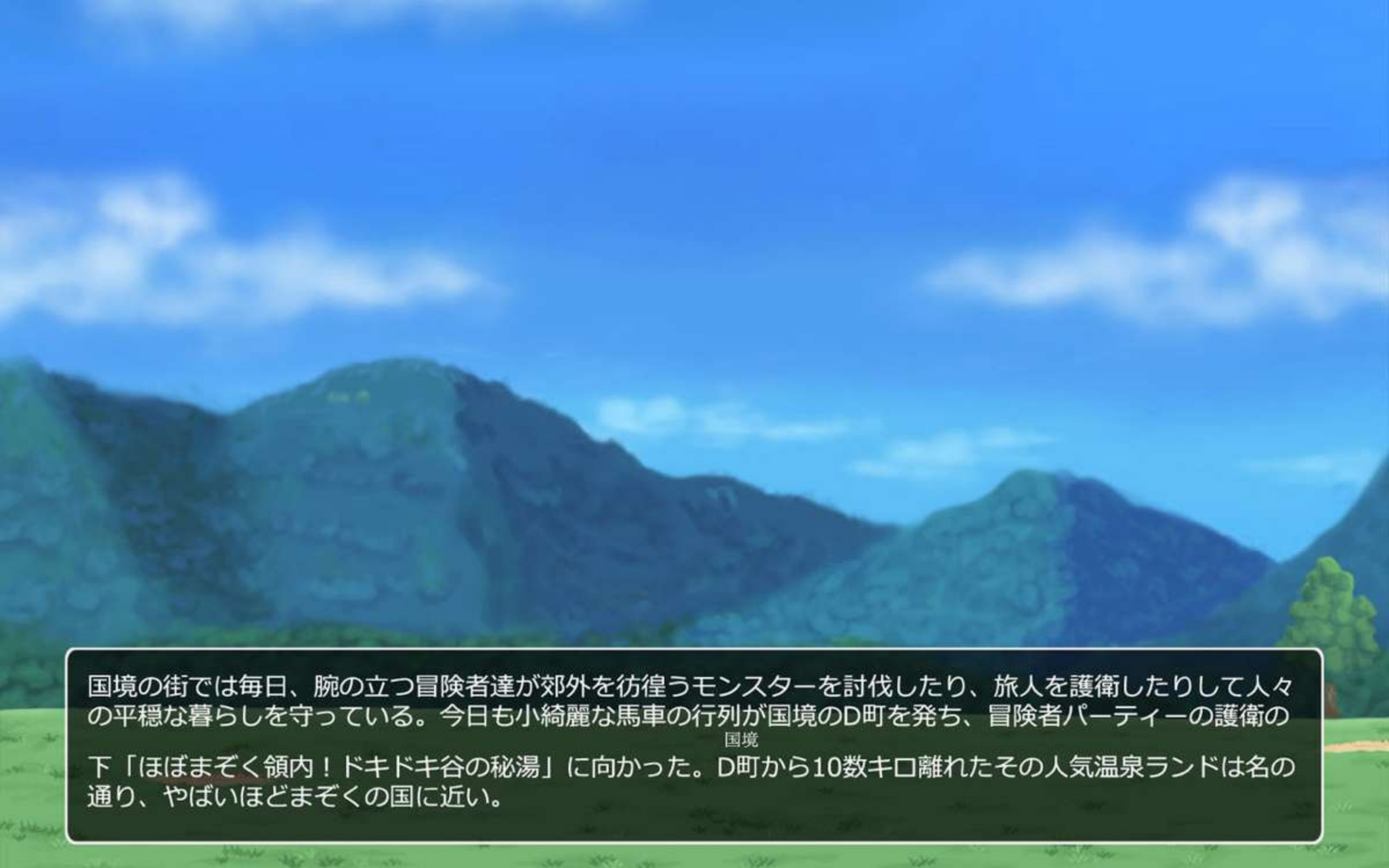




ここは、剣と魔法と人間とモンスターの世界。

タージル大陸の東に位置する「ジンレイ王国」とその西の「まぞくの国」。その国境地帯で絶えることなく小競り合いが続いていたが、もう十年近く大きな戦争がなかった。





国境の街では毎日、腕の立つ冒険者達が郊外を彷徨うモンスターを討伐したり、旅人を護衛したりして人々の平穏な暮らしを守っている。今日も小綺麗な馬車の行列が国境のD町を発ち、冒険者パーティーの護衛の

国境

下「ほぼまぞく領内！ドキドキ谷の秘湯」に向かった。D町から10数キロ離れたその人気温泉ランドは名の通り、やばいほどまぞくの国に近い。





商人ギルトのエース護衛隊が駐在し、砦のように堅牢というその秘湯の中は安全だが、向かう客が必ずしも無事に到達できるとは限らない。とある貴族の三女とその使用人達を乗せた馬車の行列を上級魔物が襲った！

冒険者達が倒された！

お嬢様が攫われた！





「くっははは！大勝っ大勝！上肉上肉ウ！  
勝者は享受するのじゃ！」

「いいぞ人間の小娘よ！良い穴じゃ！  
かろうじてわしの息子を根元まで啜え込んで  
だとは！先月犯った村娘はこれ食らって  
一瞬気絶したんじゃぞ？」

「きっきっきっ！ニンゲンの  
メス戦士さまはひどいザマだ！  
ムスコで股間のおくまで突いて  
やる！」

「酷いよ！痛いよ！やめて！  
抜いてえ！」  
「おっ、お願いからもう  
許してえ！！」

パッ  
パッ  
ズ  
ズ  
ズ  
びく  
ブル

ガク  
お  
ほひ  
ズ  
ズ  
ズ  
ズ  
ガク

ひ





「きつきつきつ！ニンゲンの  
メス戦士さまの穴はきもち  
いいな！」  
「もう声もだせない！びやく  
回突かれただけで、うごかなく  
なった！」

「ううっ……酷すぎるよこんなの……  
モンスターが人間と……人間とする  
なんて……！」

「ああ!? 小娘よ何を言っている!  
はては、東の田舎出の新米勇者じゃ  
なあ?」

「国境じゃ冒険者や旅人! 人間の若い  
メスが我がまぞくに犯されるのは日常  
茶飯事! くっははは! 敗者は黙って  
わしの息子啜える!」

「ひいイイ! もうやめてえ!!  
これ以上……これ以上  
子宮を突かれたら……  
おかしくなっちゃうウ!!」





「きつきつきつ！  
うごかなくなつた！  
きもちよかつた！  
いっばい出して、  
いっばいイかせた！  
精気うまかつた！」

「しかし、まあ！新米勇者にしてはよくやった  
方じゃ小娘よ！仲間より五分も長く抵抗し続け、  
びつくりサタ●を匹始末したとは！」

「その五分間仲間や白エブロンのメス達は性器に  
肛門！犯され続けてポロ雑巾になつたんじやが！」

「まぞくの流儀じや！倒したメスの冒険者はボン  
と棺に成るまでひたすら犯し、ひたすら種付ける  
のじや！小娘よ、絶頂・受精の時あまりのシヨック  
で死ぬか、絶頂を重ねて精気潤れてしまつて死ぬ  
かの？択じや！」

「並の村娘など、わしの馬並み息子の射精で、  
食らえばピクピクとおさらばじやが！お前  
さんはぜひ頑張つてイキ狂つてわしの経験値  
になつてもらおうのじや！」

「うっ……負けない……ヤギ風情が私を  
イかせられるもんか！」







「なんと！シヨツク死どころか  
まだ喋られるとは！」  
「じゃが、とつても「負けてない」  
とは見えぬな！」  
「ちよつと待ちな！わしもう歳じや  
から、一秒くらい休憩が必要なの  
じゃ！くっははは！」

「膨らんでるウ！無理！  
こんなの無理イ！」  
「子宮が滾るウ♥ 死んじやうウ♥」  
「ああ・・・馬並みサイズの  
ヤギチ●ポから熱い精子  
いつぱい出てるウ♥」

「きつきつきっ！  
でもまだ死んでない！  
カラダがビクビク！  
かが歪んでる！」  
「もっかい犯る！  
オレまだひかい  
いける！メス戦士  
さまがんばって！」







一方その頃。

ベテラン護衛隊付きの温泉ランド専用馬車隊の馬車は全く可愛くない、という理由で自家用馬車で秘湯に向かった、王国某貴族の三女と数人のメイドはまぞくのとある「巣」に拉致された。

それはモンスター達の「宿」や「兵站」の役割を果たす「生きるダンジョン」である。



「ひっ……ひいっ……」  
「ち、近寄るな軟体動物っ！  
私のむ、胸に触るなあ！」



「ぞ、そこでゴロゴロしている  
モンスター達！私達を今すぐ  
か、開放しなさい！」  
「わ、私の「ヶ月の小遣いだけで！  
町ギルドの冒険者の半分を雇えるのよ！！  
こ、こんな小さいダンジョンなんて」

モンスター達は「巣」でゴロゴロするだけでHPとMPが回復する。その素晴らしい機能を維持するために「巣」は定期的に人間の精気を摂取しなければならない。つまりお嬢様とメイドさん達は生きたまま、この忌々しい肉壁のエサになってしまうというわけだ。





知能ゼロの触手にさえ出来るほど、精気を摂取する方法はいたって簡単。人間のメスの柔らかい穴に侵入してひたすら犯すだけだ。

2・3日かけてじっくり弄んで、3桁の回数でイク・イカせる。エサが全く動かなくなるまでだ。



「お嬢様、もうこれ以上モンスター達を刺激しないで……」  
「救済は期待できません……もう私達は助かりませんよ……」  
「ああ……濡れ濡れぬるぬるのがお尻とオマ○コに出入りしてますわ……」

「な、なにになっ何これえ」  
「いやああ！やめてやめてええ！」  
「おっお尻が！アソコがあー！  
し、死ぬウ……！」  
「やめてえ！殺さないでえ……！」

「な、俺のー痛らよー」  
「な、助けてお嬢様はー」  
「マリアンナさんー」  
「痛らよー！寝てちゃあー」





「だ、大丈夫です…！旦那様おんなに  
教会に寄付なさっていただけますから…優先  
的復活して貰えます…！」  
「復活…？えん、きつとるなんこ様はお  
から勝手に觸り殺されます…！」  
「あ…本音がわかんないのイイ…  
もう駄目ですわたくしは…」  
「ちゃんも…お嬢様と供に逝きます…！」

「そんなっ…いやあぁ…死にたくないイイ…」  
「裂けちゃう…お尻がぁ…死ぬウウ…」  
「ロイ…？ごめんささいイ…私が悪い  
からもう許して…！」

マリアンナのバカッ！





「嗚呼お嬢様……もうい本も……お可哀想だ……」  
「(お口に入ってる触手が邪魔だわ……まだちょっとお嬢様の可愛い叫び声聴きたいのに……)」  
「……麻が絞られる回び声にも聞かれますわ……」  
「(ぐん……効ら……触手の分泌物が何がが……)」

「(ひい……田の触手は胃袋まで……  
陰部の触手は子宮口を掻き分け……  
死ぬ……本当に……)」  
「(お嬢様は……なんかもう笑っつか  
ななな……身体は……お嬢様の  
可愛い……私様……)」  
「(……お嬢様動物……お嬢様……  
……お嬢様……お嬢様……お嬢様……  
お嬢様……お嬢様……)」







女達の子宮・胃袋・腸に注がれたのは生きるダンジョンの精液、もとい代謝産物。ダンジョンにとっては不要な廃棄物だが、人間には栄養満点でヒール並の回復効果が有ってエンドルフィンも大量に分泌させられる。極めつけは絶大な催淫効果。主従一行は身分の区別なくエサ用肉人形と化し、感度が限界まで上がった身体はひたすら絶頂を繰り返し精気を最後の1滴まで搾取され、やがて狂喜のクライマックスの中でぴくっと動かなくなった。









国の大貴族のお嬢様一行がモンスターに襲われて汚された！

この悲報に国境D町の人々が大いに動揺と混乱…ないない、そういうのは一切なかった。女勇者を犯した上級魔物の言うとおりに、国境ではこんな日常茶飯事。「やっぱり都会の人ってバカだな」って、町娘たちの談笑のネタにしかならない。

比べれば、年に3、4回は発生する「魔物の群の町への特攻」のほうはまだ盛り上がる。毎回毎回迎撃する冒険者達にいっぱい被害が出てギルトも教会も大忙しで、ヘタすれば町の城壁を突破されて民間人の犠牲者まで出る。人呼んで「モンスター狂行軍」。





そうそう、まさにこのように、何の前触れも無く西の平原の果てにモンスターの大量軍が現れてる。起こってしまったのだ狂行軍。しかもこの規模…マズイ、これは「ヘタすれば」のやつだった。町ギルトは強制緊急コールを発した！戦闘力を持つ冒険者は直ちに西の城壁に急行せよ！近隣各町ギルト・教会にも至急支援要請を！



「なんだあれは…地平線を埋め尽くす  
モンスターズ!!いつもの狂行軍の比  
じゃねえぞ!」

「キラーマ●ンにトロールにびっくり  
サタ●に、ずしおう●る…アカブツ  
までかよ。」

「サイクロプスだけじゃない!上位種の  
ギガンテスまでいるんだぜ。」

「ぼーつと見てんじゃねえ!攻撃魔法  
撃ち込んで数を減らすんだ!」

「無理ですよ、  
あれを見てください……!」



「な、なんて酷いことを…!!!」

「ぐわっ…確かに昨日リンゴの村にミサを行いに  
向った、町南教会のシスター達が予定通り夜に  
帰ってこなかったとか、少し騒ぎになってたな…」

「モンスター共、村襲ってシスターや村の女達を  
犯し尽くして英気を養ったら、彼女たちを盾に  
町を攻めてきやがったということかよ！」





「つてか、キラーマン●ンつてしっぽのクロスボウ外したら性器か…いやぁ知らなかった。」

「多分夜通しモンスター共に輪姦されてたのによく生きてるなあ。奴らの体液だいたい催淫効果あって、朝まで百回は絶頂するのによ。」

「棺は盾にならないから優しく犯つてもらったんじゃないかね？」

「いやいやギガンテス兄さんの息子はどーやて優しく犯るっつてんだよ。緑い髪のシスターお姉ちゃん、肉コンドームになつてるぜ。」





「あれはシスター歴5年のアマンダさん10の歳！  
なんて美しいおっぱいなんだ…って今は  
人生に「度し」かない、シスターズ的美乳を  
遠慮無く眺める貴重なチャンスでは!?」

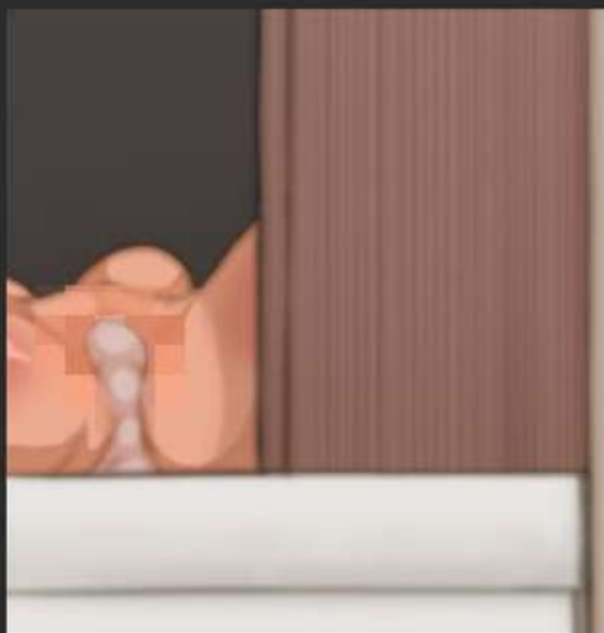
「クソッギガシテスめ！将来俺がアマンダさん  
をうまく回説いてやらせてもらっても、ガバ  
ガバな穴じやちつとも楽しくねじやねえか！  
まあやっつてやるけど」

「安心しろしつかり回復呪文かけりや治る。  
つかどうせこれから乱戦になつて死ぬし、復活  
させれば元通りさ。だいいちお前なんか一生  
落とせねえ！」

「貴様らいいかげん罰当たりな無駄回利くの  
やめんか！さっさと前線に出ろっ！」







激戦の最中、西南城壁のウイークポイントを突破され100匹以上のモンスターがなだれ込んだ。逃げ遅れた男達が木の棒とかで抵抗して瞬殺され、城壁付近の商店街・住宅街は一気に地獄と化した。



このモンスター共は西の城門を攻める本隊から分かれた、小さな別働隊に過ぎなかった。その敵本隊と絶賛ぶつかり合った冒険者の本隊に南を救援する余裕などなかった。戦線を維持するのがやっとという、圧倒的不利な人数を更に分散したら敵の思い壺だ。救援が来るまで城門を守り抜ける！それが正確な判断だ。侵入した別働隊は無視するしかなかった……







ワ  
ー

ク  
ー

キ  
ヤ  
ー

ガ  
ハ

ひ  
こ  
い

誰  
ガ  
ッ

唾  
わ  
れ  
ち  
や  
う

ガ  
ハ

ガ  
ハ

キ  
ヤ  
ー

あ  
っ

ア  
ッ

ゲ  
ッ

あ  
っ

ア  
ッ

ア  
ッ

ア  
ッ

ズ  
ッ

ズ  
ッ

ズ  
ッ

ズ  
ッ

唾  
ご  
し  
ょ

う  
そ  
そ  
ん  
な

あ  
あ  
神  
様

び  
く

び  
く





ク  
ー

キ  
ヤ  
ー

ク  
ー

キ  
ヤ  
ー

ズ  
ン

ズ  
ン

ガ  
ハ

ガ  
ハ

た  
助  
け

ガ  
ハ

あ  
せ  
ー

は  
入  
こ  
る

は  
あ

は

ん  
あ

ズ  
ン

ズ  
ン

プ  
ル

プ  
ル

ひ  
っ

ひ  
っ

う  
ぎ  
ー

ズ  
ン

ズ  
ン

×  
ハ

ズ  
ン









んほお♡

おっ

ん

びく

ブル

ブル

ブル

びく

びく

ト

ト

ク

ク





幸い、モンスター共は目の前の犯し放題の上肉を無視して城門の冒険者達を挟み撃ちしたり、ギルト本部や教会目指したりするほど意識高くない。やつらは人間のメスの匂いに敏感だ。樽の中だろうと屋根裏だろうと、隠れてた女は1人また1人見つかって股間に異種の肉棒をねじ込まれてしまった。犯られ過ぎて巨根に貫いたまま「ボンッ」と棺になってしまった犠牲者も何人か居たという…





熾烈を極める西の城門の防衛戦。エリート冒険者達は空に舞い上がって颯爽にサイクロプスを切り刻むほどの活躍を見せたが、多勢に無勢の戦場だけに中堅達は身を守るのが精一杯。ルーキー達に至ってはほとんど半時間も満たずに退場した。さらに不運な人は、教会直送の退場も許されなかつた。







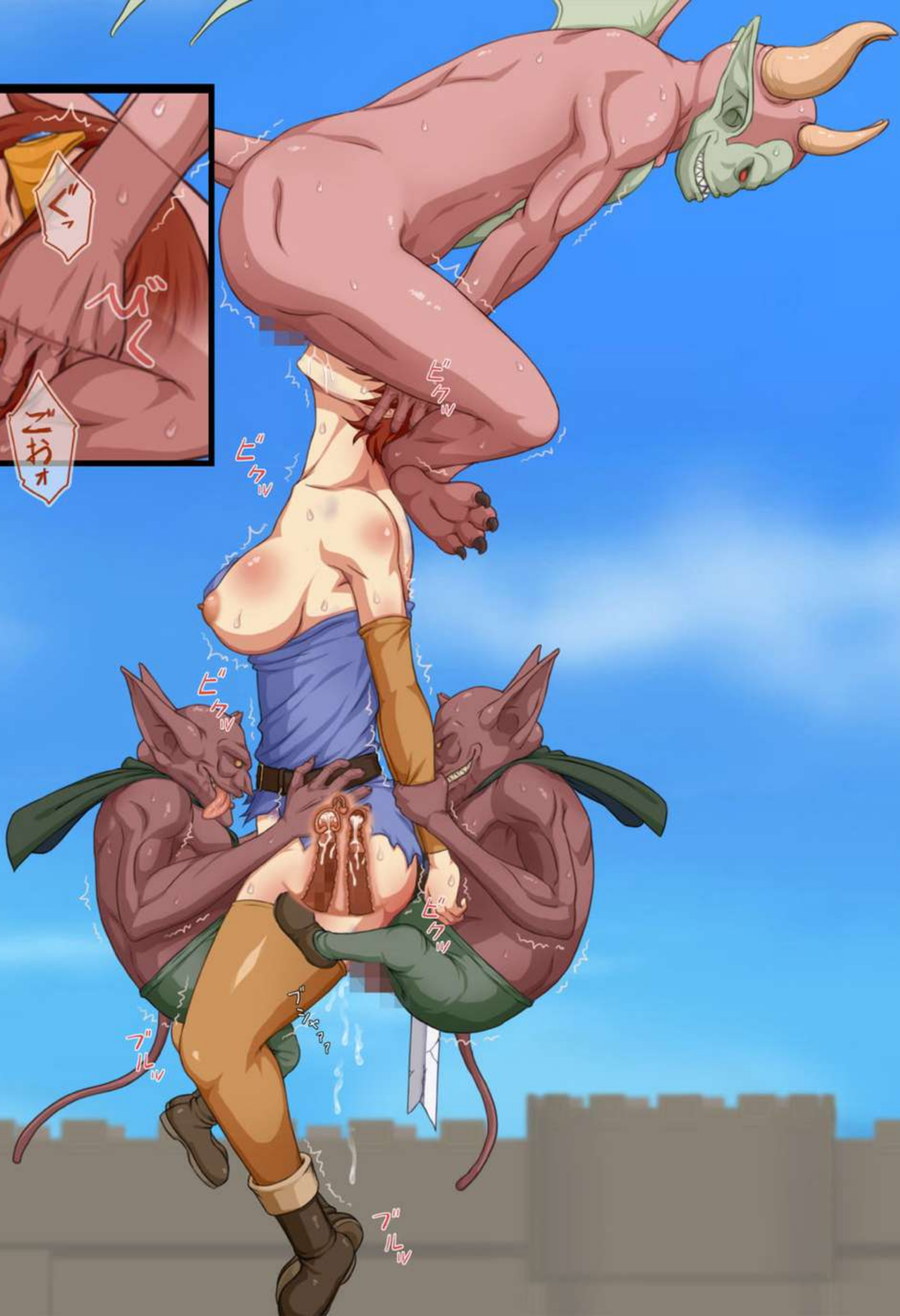
レベル5の新米女勇者の戦果はびつくりサタ●ω匹・トロールω匹で止まった。レベルωに上がったがMPも体力も尽きた彼女は、ギルトの仲間達の前（というか上）で為す術もなく青姦を強要された。

真上から何か変な音してるなって見習戦士の少年が首を反って見上げたら、少女の股間のωつの穴に魔物の性器が猛スピードで出入りしてる光景だった。少年は不本意ながら腰防具の下を固く勃たせた。





顔ををじごくのも●ばんの股間に力強く固定された新米女勇者は、舌の奥なので味がわからなかったが熱い精液が喉奥に注ぎ込まれるのを感じた。下半身の前後の穴も何か熱いのが入って来てる。彼女は白目を剥き、痙攣しながら青空でシャーツと漏れた。





エリート弓使いの一撃がなければ彼女はもんばんさんのN発目の  
精液を飲むことになってた。地面に落ちた勢いでサンタの硬い  
龟头に子宮と直腸の奥まで直撃され、ピクピクと気絶しまった  
レベルメ女勇者だった。





西の城門からちよつと離れた場所にもう一つの青姦シヨ一  
があつた。攻城戦でやる気が出ない、気まぐれな上級  
魔獣とレベル∞の見習僧侶だつた。殺伐した戦場と比べ  
れば、木の下の背面座位異種間セツクスも若干穏やか  
な光景と錯覚させられる。

ち、  
膾内清浄呪文

プリファイ  
……!!

※混乱でありもしない呪文を詠唱し始めてる

ブルッ

ゲルルル

ブルッ

ブルッ

モミ

モミ

ガクッ

ガクッ

ズブ

ズブ

ズブ





後列で援護に徹すればよかった。前に出過ぎたから、あじけない戦場をサボって「トイレ」でも行きたくなくなったこの魔物に攫われ、野戦トイレの喚く便器になっちまったのだ。人間のメスのその感触が気に入ったのか、ブレ●ズホーンは無骨な指で柔らかな脂肪の塊を揉みまくる。その肉棒も神の僕の股間を遠慮無く突きまくる。胸と股間の刺激で女僧侶は二回目の絶頂を迎えた。

「ああ神様、このしもべの無様な姿を見ないでえ」



ブルッ

いっ

ブルッ

っ 小水が

ガクッ

ズブ

ズブ

ズブ

モミ

モミ

ガクッ

ズブ

ズブ

ズブ

ブルッ

ブルッ

ブルッ

ブルッ



妊娠・授乳の経験がないのに、女僧侶さんの豊満な巨乳はブレ●ズホーン  
の握力に耐えられず遂にミルクを大量に噴出する。膣内清浄呪文(?)での  
抵抗もむなしく、大事な所を魔物の精液で汚された。色んな意味で限界に  
達した女僧侶さん、なんかヤバいことを呟いて始めた。





この割りりとレベルが高いブレ●ズホーンは、今回のモンスター軍勢の最強戦力トップには入るらしい。レベル∞の女僧侶二人でそれを戦場から脱退させたなんて大したものだ。人型便器として延々と魔物の肉棒に種付され続け、悶絶昇天を繰り返しの回目の射精と共に力尽きたことは決して無意味ではなかった。

んほおお

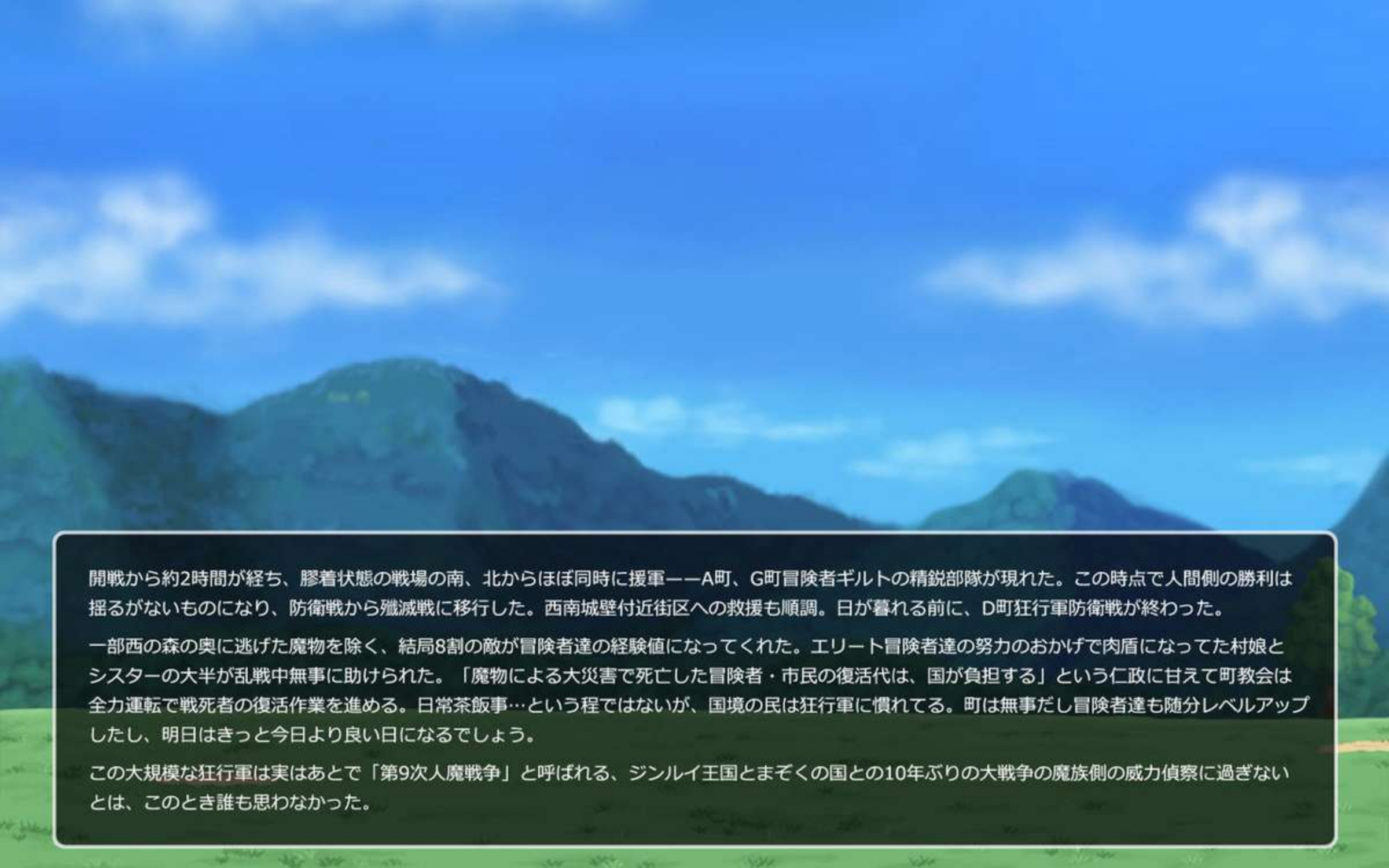
お兄様  
だめこは

オマ●コは  
なして

※7回目の時点のご様子

ドロ



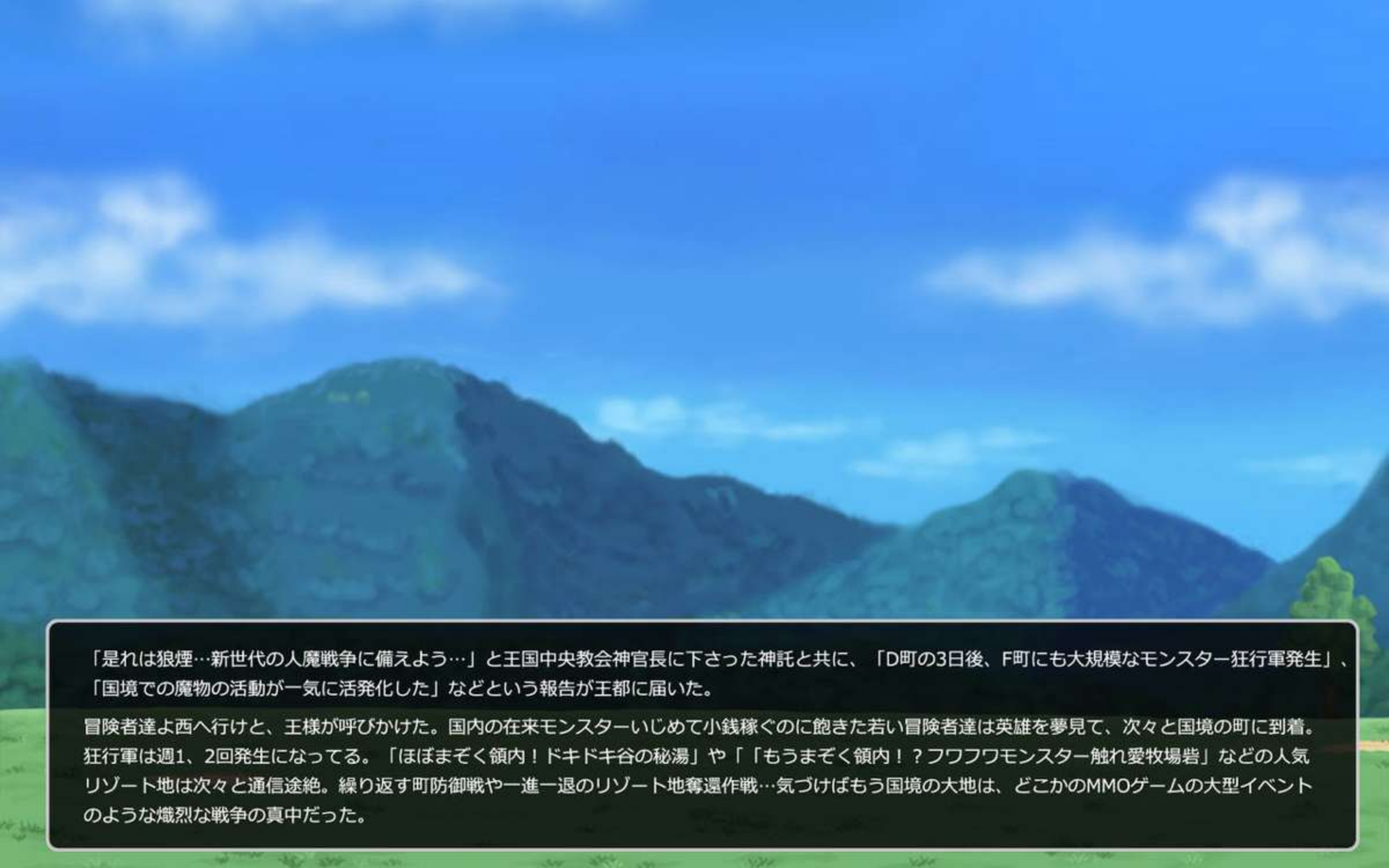


開戦から約2時間が経ち、膠着状態の戦場の南、北からほぼ同時に援軍——A町、G町冒険者ギルトの精鋭部隊が現れた。この時点で人間側の勝利は揺るがないものになり、防衛戦から殲滅戦に移行した。西南城壁付近街区への救援も順調。日が暮れる前に、D町狂行軍防衛戦が終わった。

一部西の森の奥に逃げた魔物を除く、結局8割の敵が冒険者達の経験値になってくれた。エリート冒険者達の努力のおかげで肉盾になってた村娘とシスターの大半が乱戦中無事に助けられた。「魔物による大災害で死亡した冒険者・市民の復活代は、国が負担する」という仁政に甘えて町教会は全力運転で戦死者の復活作業を進める。日常茶飯事…という程ではないが、国境の民は狂行軍に慣れてる。町は無事だし冒険者達も随分レベルアップしたし、明日はきっと今日より良い日になるでしょう。

この大規模な狂行軍は実はあとで「第9次人魔戦争」と呼ばれる、ジンルイ王国とまぞくの国との10年ぶりの大戦争の魔族側の威力偵察に過ぎないとは、このとき誰も思わなかった。





「是れは狼煙…新世代の人魔戦争に備えよう…」と王国中央教会神官長に下さった神託と共に、「D町の3日後、F町にも大規模なモンスター狂行軍発生」、「国境での魔物の活動が一気に活発化した」などという報告が王都に届いた。

冒険者達よ西へ行けと、王様が呼びかけた。国内の在来モンスターいじめて小銭稼ぐのに飽きた若い冒険者達は英雄を夢見て、次々と国境の町に到着。狂行軍は週1、2回発生になってる。「ほぼまぞく領内！ドキドキ谷の秘湯」や「もうまぞく領内！？フワフワモンスター触れ愛牧場砦」などの人気リゾート地は次々と通信途絶。繰り返す町防御戦や一進一退のリゾート地奪還作戦…気づけばもう国境の大地は、どこかのMMOゲームの大型イベントのような熾烈な戦争の真中だった。





国境出身の駆け出し盗賊・ミナミと王国第二魔法学園卒業生の新米賢者・アリサは一週間前から勇者（男）・戦士（男）とパーティーを組んでA町を拠点にいい調子で冒険していたが、今日の「第二回ドキドキ谷の秘湯奪還作戦に備えてレア薬草\*5を採取しろ！」ってクエストで失敗して男の野郎共をモンスター達に殺され、女2人は生きるダンジョンに連れて行かれた。





「や、ミナミさんはさきの戦いで…きめんど…しのみタ…ニを受けた  
でしょう! あ、あれは極稀に女性に…ふ、」  
「ふたなり化」の効果  
があつて……」

「さ、さすが賢者さん物知りだわ! つまり私イ混乱呪文の被害者でね!  
オマ…コで触手啜えながらチ●ポで賢者さんのお尻犯したくなるのも  
仕方ない事っ!」

「いいえ…この場合呪文の魔力の半分は…「副作用」で消耗したはず  
です…混乱効果は不完全…なんだから…しっかりして……」





「そんな…実直善良な私が半端な混乱呪文で仲間のお尻に発情するわけ無いわあ…いや全部ヌダ●ニのせいだよ私混乱中！ええいもう黙って腰振れえ！」

「ああ…「スケベな女性ほど副作用が出やすい」って本当なのね…ここ数日のお風呂…私の完璧な肉体がみなさんの劣情を催しちゃいましたのねきつと……」

八一ガール

「ほ、本当にそうかもよ…賢者さんって元遊び人だけあってすっごいイヤラシイボデイしてるの…ああバニ―服の賢者さん犯りたいイ……!!」

「ち、違います！私元僧侶よ！優等生で魔法学園から悟りの書貰いましたのー！」





「あれえ？賢者さんイツちゃたの？元聖職者の癖にふたなり盗賊の劣情チ●ポに…ケツ穴掘られて感じちゃったの!?」

「そ、そんな事ありません！私ちゃんと性器で…膣が触手に犯される性的快感で絶頂したのです！それにこんな無様な姿を晒しても…私今だって聖職者なんです！」

「こ、肛門は一応性感帯であって…ミナミさんのち、チ●ポである程度！快感を得てるのは事実ですけれど…貴女が射精しない限り…多分私お尻でいきますん！」





私の便女になぞ♡

マですッ

「フンっだ 実を言うと私は…賢者さんのオマ○ヨ犯したいんだ わぁ…!あのクソ邪魔な触手が離れる瞬間…あんなのマ○ヨにテ○ポぶち込むからね…♡」

「そ、そうしてください私だって…魔物の性器より貴女のニセテ○ポの方が…倫理的にいいですッ……」

「それに…スケベな貴女が満足するまで射精させないと…混乱は治らないかもしれません…!」

「わ、分かっているじゃないか賢者さん…!治らなかつたら町に帰って酒場の受付嬢ちゃんでも…路地裏に連れて行って犯しちゃうかもよ私は♡」





駆け出しの女冒険者はみんな弱い。モンスターに無惨にレ●プされて心折れて再起不能になった人が数えきれなかった。が、スケベ女盗賊とナルシスト女賢者はその失敗の後見事に傷心に打ち勝って国境の大地を冒険し続け、9年後の第10次人魔戦争で「救国の英雄」と呼ばれるほど成長を見せた。

結局女盗賊さんは女賢者さんのオマ●コを犯したか、ふたなり化治ったか、町の酒場の受付嬢ちゃん犯したか……それはまた、別の話。





「ドキドキ谷の秘湯」は開戦早々、商人ギルドの護衛部隊がまぞくの国の中央軍に蹴散らされ、魔族の前線拠点と化した。秘湯に居た人間…つまり護衛部隊隊員、秘湯の客に従業員は生還不可能。彼達の棺は最寄町であるD町の教会に次から次へと転送されたが、全員ではなかった。男の棺は殆ど陥落から30分以内に現れたが、女性のは3日経っても半数しか転送されなかった。





女達は捕虜になって魔族に輪姦されてる…ってのは当たり前で復活した人に聞くまでもなかった。おかしいのはサイクロプスなど、射精1発で並の女をピクピクと白目剥いてショック死させる大型のモンスターが多数居たのにこの死亡ペースはあり得ない。D町狂行軍の時から人間達は薄々気づいていた。どうやらモンスター達は冗談抜きで本当に「人間の女を優しく犯し方」を会得したようだ。



魔族の賢者が新しく開発した肉体改造呪文でモンスター達のチ●ポが鎮痛・中絶続回復効果のある液体を分泌する事が出来るようになった。それでもサイクロプス一族に関しては力加減とか挿入角度とか「慣れ」が必要だ。まだ慣れていないこの「サイクロプス」くんはすでに秘湯の若い仲居さんを心人、「発だけで教会へ直送した。なあと訓練用の捕虜はまだたくさん居る。慣れるまでやればいい。



イヤ

やめてエ

無理イ

割れちゃウケ

ブルッ

ブルッ

ブルッ

ブルッ

ビクッ

ビクッ

X

X





破裂しちまう

死ぬ

黒い肌の踊り子さんはサイクロプスロくと交尾させられる前に一晩、ビッグサイズ張型をω本もオマ●コにねじ込まれつばなして放置されてた。彼女はω本目が入る時死んじやう死んじやうって泣き叫んだが、今はむしろあのサイズの張型が恋しくなってる。おおく辛うじて膣の入り口を龟头全体が通過した。

ちなみに踊り子さんに双子の妹さんがいて、今は占領軍中ボスの個室のベッド上で通算16回目の絶頂を迎えている。



でかしたぞサイクロプスロくん。失敗から学習してようやく肉オナホーとのセックスのやり方を会得したじゃないか。ポテ腹というより肉コンドームになってる踊り子さん、叫び狂いながら正気を失いつつある。ロくんの二回目の射精まで踊り子さんは5回か10回か、というより生殖器周辺の筋肉が狂ってしまってもうずつとイきっぱなし状態。小便漏れすぎて膀胱が空っぽになっても尚、前立腺が大量の潮液を噴出し続ける。





サイクロプスロくんは占領の日の昼の部の交尾練習だけで、捕虜の中でもクオリティが高い肉オナホーを人々もころころ……消耗した。練習相手に何回射精するたび代わりて犯しても流石に何回位やったら失神し、それでも構わずやり続けて何回位でポンっと力尽き。最高記録は一回かな？ 勿論棺化までは悶絶昇天、気絶と目覚めを繰り返した。







王国以外にも色んな小国がこの大陸に点在し、それら出身の冒険者達もこの熾烈な人魔戦争に参戦している。王国のエリート冒険者達の戦い方を見学できるし、何よりもぞくの国の上級魔物の経験値は自分の国の在来モンスターより遥かに美味しいのでハイリスク・ハイリターン。が、やっぱりリスクがハイ過ぎだったかもしれない。修業のためにとある北の小国から来た若い王子と王女は、レベル75の「ギタイスライム」に挑むも見事に打ち返されて洞窟の中で悶絶している。



ひい

やめてネ

「お、お兄ちゃん!?  
ギタイスライムの  
メダパニは人に...自分の  
妹のお尻の穴に...お、お  
ちん●んを入れさせるつ  
て効果なの!?!」

「つて...ていうか  
お兄ちゃん!スライム  
はお兄ちゃんにギタイ  
して...私の股間の...  
お兄ちゃん股間に無い  
あの穴に...おちん●ん  
をつ...!」

「こ、これがモンスター  
の「ゴウカン」...なの!?  
す、すごい変な感じ...  
お尻の穴もあの穴も...  
お兄ちゃん達の...太い  
おちん●んでいつぱい...  
ああっだめえ...は、激し  
いイ...もう変になっちゃ  
うよお兄イちゃん...!!」





「(ううっ：我が妹、  
あいも変わらず性の  
知識ゼロに等しい：前  
からその無知さを利用  
してお尻でもいいから  
一回おちん●んを入れ  
たいなつて俺の邪念が…  
メダパニの効果と相乗  
して気付いたらもう  
このザマ!!!)」

「(つていうか俺思考  
が出来てるつてことは、  
もうメダパニ解けたの  
か!!?でも今死んでも  
絶対対、妹の肛門から  
抜きたくないのはやっぱり  
混乱がまだ効いてるの?)」

「(うん…きつとそうだ  
簡単に解けるはずがない…  
犯りたいから実の妹の  
お尻を犯つてるわけじゃ  
ない…今の俺はこいつの…愛  
しい妹のオマ●コを侵入し、処女  
を貰った「黒い俺」の操り人形に  
過ぎないんだ…!!!)」

んっ

ビクッ

あっ

ビクッ

はあっ

ガクッ

ガクッ

パ  
ン

ズ  
ブ

ズ  
ブ

パ  
ン

ズ  
ブ

ズ  
ブ





あー

あーあー

ビクッ♡

ビクッ♡

お  
お兄ちゃん♡

ガクッ

ガクッ

「お、お兄ちゃん…  
多分まだ正気に戻って  
ないけど聞いて…  
私イ…お兄ちゃん達の  
おちん●んに…段々と  
慣れてきたかも…」

「なんか…なんか…ああ  
すごい…」

「今…黒いお兄ちゃん  
ので…あそこがぎゅ  
つと…すごい…  
すごく…」

「すごく気持ちいいよ…」

「(おお妹を)回遊されたかスライム！  
でかした…って俺なに考えてんの！！  
で、でも絵面じゃ兄弟同士の口みたい  
なものなんだからこれはこれで…」





ひ

何これ

熱くて  
濃いのが

「ああお兄ちゃん達…  
こんなの…こんなの  
されたら私イ…♡」

「(うおお…俺、グラン  
パ○ア王子は妹の肛門に  
射精する…という夢を叶  
ったんだ…もう人生やり  
残したこと…)」

「(…いやある…この黒い  
俺に土下座しても今日は…  
なにがなんでも我が妹の  
オマ○コに「発を…」)」







それが金髪兄妹のこの冒険で初めての、そして最後の全滅。「黒い俺と交替で妹の前後の穴をひたすら犯していたら妹がぼんっと棺に。そしたら黒い俺が黒い妹になって…嗚呼俺としたことが…でもそれはそれで……！」by王子さんの日記。その後も毎日のように洞窟・夜の町の路地裏・宿屋の部屋などで「メダパニのリハビリ」と言って妹にあれこれを強要してたことを記したこの日記は勿論、王子は墓場まで持っていく。





説明する必要がないかもしれないがこの世界にいる勇者は一人だけではない。素養がある人なら冒険者ギルドに登録する時誰でも職業として「勇者」を選べるし、昔から様式美とか言って「ワンパーティワン勇者」はほぼ定石。冒険者の花形と言われるが勇者達はみな、世界を守り人々の笑顔を守るという大志を持っているとは限らない。





「やれやれっこんな町に近い農園にもモンスターが襲ってくる  
とは：ソロ勇者の僕がいなければ母娘仲良く子宮回が丸見えるよう  
になるほど犯されちまうぞ。」

「本当はこんな形で報酬をもらうつもりはなかったが：「鑑定」で  
「未亡人」「○歳処女」と分かったらもうね、息子が鎮まれなく  
なっちゃったよ！まあこの世界の民間人をレイプするのは初めてじゃ  
ないけど。未だに心のどこかで仮想現実オーブンワールドゲームかな？  
と思っって罪悪感が薄くなってるからかな……」







「僕はさあ「召喚勇者」なんだ。モンスターを討伐したりクエストをクリアしたりしたら「帰還ポイント」を貯められ、10万点貯めたら持ち物の中最も価値がある1品の売値と同額の日本円をもらって元の世界に帰還する事になるって天の声がね。」

「あっという間にレベル10になった僕にとって10万点なんてどうにもなるけど、拳サイズのダイアモンドでも手に入るまで帰るわけなくない？ さっき娘さんのオマ○コに種付したときポイントが100点減少したよ。僕はこうやって「時間稼ぎ」するんだ。僕の経験じゃ奥さんに中出ししたら1000点ってところかな？」

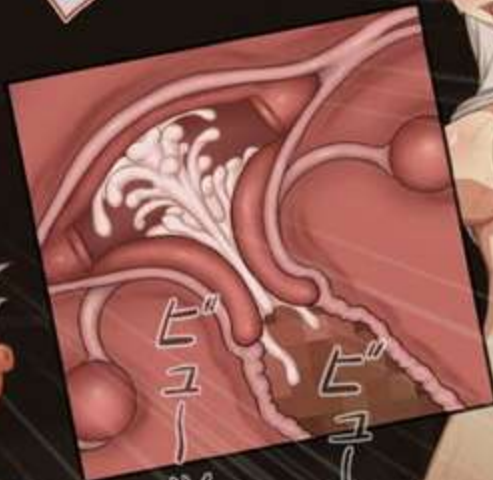


「いやあ、娘さんのオマ○ヨすこい締め付けて来て気持ち良かったけど、奥さんのピチヨピチヨオマ○ヨもスムーズにやれて最高だったな！おぉ来るぞ！そろそろ未亡人の巨乳農園主さんの子宮に種付しちゃうぞ！」

「これで終わると思うなよ？僕の予定では奥さんに出したら娘さんのカワイイお尻にするからな…！」







「出たっ出たあ！娘さんのお尻に入る前にちよっと  
休憩！でもどうせ奥さんのお尻も犯る予定だから  
次は娘さんの口かオマ○コにするのもありかな？  
迷うわ〜」

「同じ相手じゃね発目からの桁のポイントしか減らない  
からたっぶり付き合ってもらおうぞ！まあ安心しな、  
散々満足したらロープで絞め殺すほど外道にはなっ  
てないんだ。でも「直近は時間分の記憶喪失呪文」は  
かけさせてもらおう…お互いのためにも……」





「召喚勇者」とはこの世界の神様の気まぐれ。先に言っておくが彼らは皆、とある青い惑星の極東の島国の出身なわけではなかった。人魔戦争が起きる度に色々な世界から色々な人が、神様の気まぐれで「召喚勇者」としてこの世界に召喚される。別にそうしてもらわないと魔族に負けるほど、人間側は苦戦を強いられてるわけじゃないのに・・・





やめてえ

こ  
降参よ  
私たちは

「ああ嫌ですわ。。。同じ世界出身の知り合い同士だからと言って、勇者職だけでパーティーを組むんじやありませんでした。。。まさかこの王女メ●ス様の前後の穴が、変なビッグスライムのオモチャにされる日が来るとは♡」  
「フフ。。。にしても眼福ですわ。。。忠義と礼節を重んじる護国の巫女様と、息子と夫の事しか頭にない巨乳妖怪さん、とってもいいザマになってますわ♡」  
「これからの人の穴という穴はどれほどガバガバにされるのか、楽しみてしようがないですウ。。。勿論私、メ●ス様も平民達に負けないような立派な受難の姿を晒しなくちゃ♡」

びく

びく

ブル

ズブッ

ズブッ

ズブッ

キュポ

キュポ

ブル

ブル

グロ

グロ

ブル

ブル

ブル



「つなんと。。。乳首に針のような器官で強制侵入ですってゾルい。。。私や  
巫女さんの凡乳など眼中にないというの？なんて巨乳妖怪さんだけにあんな、  
忌々しいほど素敵な行為を。。。！」

「刺された乳はこれからどうなりますか。。。恐ろしすぎて想像するだけでギョッ  
と失禁しちゃいそう！いいえもう漏らしています！高貴な私の腫とお尻に侵入した  
触手が、あまりにも乱暴に責めてますから♡」



ちく  
乳首がッ

ギョッ!?



おッ  
お尻がッ

キョポ

びく

ヌル

びく

ヌル

ズプッ

ズプッ

キョポッ

ヌル



ズボッ

ズボッ

ブルッ

ブルッ

ヌル

ヌル





あひい

もう……  
ひと思いレイ

殺して

「嗚呼目を疑うウ……。人間の乳が……。犯す為の第のの穴にされてますわ……。なんて醜くて美しい光景なんでしょう！これこそ異端……。太陽神の光すら届かない闇……。！巨乳さんの歪んだ顔に牝犬のような喘ぎ声……。恐怖かしら、それとも狂喜かしら……。♡」

「にしてもやはり気のせいじゃなかったですわ……。私達の淫猥な穴を完全に支配したスライムの性器が……。前よりずっと太くなっていますウ……。!!」

「ああ？身体裂けるウ……。括約筋の悲鳴が聞こえます……。経産婦のおばさんなんてどうでもいいけど私と巫女さん……。気高い処女！人の身体をどんな風に壊してくれますかな♡」

びく

びく

キュポ

びく

キュポ

ヌル

ズプッ

ズプッ

ズプッ

キュポ

キュポ

ヌル

ヌル

ゲポ

ブル

ブル

ブル

ブル

ブル

ブル





んほお

おほお

めくら

びく

ブル

びく

ブル

ブル

ビク

ブル

ブル

ビク

ビク

「この人、腹が触手の形になった哀れな王女を見て心の中であざ笑っているんでしょう...」  
「墮ちる所まで墮ちた肉便器同士、仲良く最後まで...喚き狂いながら壊れましょう!」  
「これだあ、これですわ...王女の威光も戦士のプライドも何もかも砕き尽くしてくれる、悪夢の光景!」  
「射精機能がなければととても親切なスライムだった。獲物が絶頂に達するたび、奴はチ●ポ持ちの大型モンスターの射精の真似事をしてあげる。触手が子宮の奥まで一気に突き上げ、河豚のように膨らむ。なぜか絶頂を重ねると回りに侵入した触手は消化器を通ってお尻から出る。徐々に身体奥に滑り込んでくるのを感じて巫女様、あまりの恐怖で失禁が止まりませんでした。」





この人

「とある貴族三女の馬車隊全滅事件」で力尽きるまで下級魔物に犯された新米女戦士には美少年の弟（違うパーティーの戦士）がいる。「あんなんで処女喪失なんて姉さん可哀想に・・・俺なんか前日ギルドの先輩受付嬢さんで童貞卒業しちゃったけどね♡」と姉を優しく慰めてた彼は数日後、仕留め損ねた魔物の「性転換呪文」を受けて姉と瓜二つな女（というよりふたなり）戦士に変身。

「あらあら可哀想に・・・仲間の変な視線に耐えられなくてパーティーを抜けるんだって？私の予備の防具あげちゃうからソロクエストでもやって行きな♡ 呪文解除できるまで処女捨てられたらいいなあ♡」と姉に力強く励まされ、呪文解除を目指して改めて冒険を始めた彼だが・・・



案の定ビッグスライムに負けて処女喪失の危機に直面してる。  
そもそも人魔戦争の真中に新米冒険者（しかも♀）がソロで冒険に  
出るなんて正気の沙汰ではなかった。

ちよっ

待って

男だぞ  
俺は

ビクッ

ビクッ

ブルッ

ブルッ

ギギ

ギギ

ボクは

「ぐっ……あのクツ姉っ、胸鎧がこんなにキツイ装備を押し付け  
やがって……ちよ、ちよっとスライムさん仲間違ってもあつ、あそこ  
に入るんじゃない！せっかく「やっぱりまともな人間でありたい」  
の決意でパカ姉の餓別のオナニー道具を捨ててきたのに……」





「つうう……。チクショーっ……。モンスターってやっぱり入るんだ……。特にスライム系は……。」  
しきゅう  
「っひ、ひい……。俺のより大きいやつが……。新しく生えた器官の入り口に……。」

ひい

姉ちゃん  
助けてエ

ブル

ビク

ビク

ビク

ブル

ビク



好事家な少年だったから実は分かってる、軟体系のこれからの一般的な段取りを。肛門を留守にしたりする事はまずなくて、N穴の括約筋が馴染んだらプニプニチ●ポの太さもどんどんアップ。ふたなりの場合男性器も責められてしまうし持久戦になったらお尻から回まで貫通されたり……。分かってはいるが今はあえて考えないだけだ。



「んおおおおあつっ♡」  
「ばばばバカなっ。。。射精はっつと、止まんない。。。あのドビッチ  
受付嬢のお姉さんのオマ●コより気持ちいいかも♡」



んほお♡

雌になっちゃダメ

直腸を掻き回される快感と子宮回を叩かれる快感と豆を責められる快感とプリプリ擬似フェ●チオの快感と、内部からの前立腺ガチマツサージの快感の相乗効果で少年は射精しまくる。「モンスタ―って性別なんて気にしない種族もいるし、なぜか人間の顔の美醜も分かるから、男だってお前のようなカワイイさんならそのうちにお尻の処女奪われちゃうぜ。スライム相手の場合は前後責めの射精祭り。。。なんちゃって」と元仲間

に忠告された事があるが、スライムXふたなりの場合はそんな生ぬるいものではなかったのだ。

なんちゃって





神様の悪戯なのか、~~少女~~少年は絶頂の果てに「スライム使役」というエクストラスキルを授かった。スライム（というか自我がないモンスター全般）と性行為を通じて絶頂しまくると発動し、対象のレベルと関係なく超高確率で相手を「いつでも召喚できる使魔」にする。「サブ職業・魔物使のソロ専ふたなり女戦士」はのちに英雄になった。「そういえば呪文解除の方法見つかったの？っていうか努力してんの？」と彼は時々、姉やドビッチ受付嬢さんにかからかわれるがそのたびにチ●ポを以って制裁黙らせた。





当分終わりそうもない人魔戦争。まぞくの国の前哨基地の一つであるこの「愚者の廃街」は今日も新しい歩く肉塊が何十人補充された。大きい拠点だけあって肉塊の消耗も激しいからな。



ドキドキリゾートシリーズ並にまぞくの国に近いこの街は、遠い昔「人類の町を作ったら魔族共の国境線は自然に後退するでしょう」と思い込んでた、とあるバカな貴族様が大勢の錬金術師を使って一夜で作り上げ、2日で魔族中央軍の攻撃によって陥落したという。ゴーストタウンと化したこの町は、高レベルの冒険者パーティーがたまに無料宿屋（ラブホとも言う）として利用するくらいの存在だったが、人魔戦争が起こる度にどちら側に再利用されるらしい。今回は魔族の人間肉穴牧場だ。







んほあっ

88分の散歩  
コースで

絶頂二回目え

パ  
フ  
パ  
フ  
パ  
フ

ビ  
ク  
ウ

パ  
フ

ブル  
ウ

ズ  
プ  
ッ

キ  
ュ  
ポ

キ  
ュ  
ポ  
ッ

ブル  
ウ

ト  
ク

ブ  
チ  
ャ

ブ  
チ  
ャ

ジュ  
ポ

ジュ  
ポ

ジュ  
ポ

ハ  
ッ



名家ア●パート家のお嬢様・肉穴番号1637  
飼育3日目  
オマ●コ 78回 (締め具合A+からB-に落ちた)  
肛門 46回 (A~D)

穴の締め具合は「小型魔物非推奨」になったが精神崩壊の兆候無し。体力もまだグリーン。4日目まで生き残ることが出来れば全回復魔法かける価値があるかも。

イチゴ村の村長・肉穴番号1799  
飼育初日  
オマ●コ (締め具合A-)  
肛門 (A+)

「気絶のままの交尾は3回まで」を厳守し、張型(回復効果付き)を入れて一旦休憩。

大富豪ルド●ンの娘・肉穴番号1791  
飼育初日  
オマ●コ (締め具合S+)  
肛門 (A+)

修道院出身なので壊れるまで半日も持たないではないかと、体力も明日まで保つか怪しいので精神崩壊・死亡など気にせず、不眠不休で極上穴をガンガン責めるのがお薦め!

国境風装備のLv9女勇者・肉穴番号1625  
飼育4日目  
オマ●コ75回 (締め具合A-からDに落ちた)  
肛門96回 (S~A+)

人間の身体の防衛機制による幼児退行・感情鈍化が昨日から始まっ・・・一言で言うと壊れた。体力もレッドになったので午前中に棺になっちゃうではないかと。ザ●ガスBさんは本当にガバガバ穴好きだな。



肉穴番号1637、  
飼育56日目目に釈放



※ア●パート家のお嬢様  
飼育53日目のご様子

お金持ちさんの娘などを奪還するために、そこそこの頻度で冒険者が侵入してくる。その過半数が失敗して逆に新しい肉穴番号になるが、Lv99のやつが牢屋外で放牧中の肉穴を攫って来たらどうしようもなかった。特定の対象じゃなく無差別に攫う・・・と言うより顔やスタイルで選ぶ・・・ってやつもたまに現れる。どいつも覆面。  
奪還されたのではなく飽きて釈放したのは番号1637が初めてだ。牧場の幹部全員と知り合い（アンド肉体関係）になって毎日6時間のノーセックスタイム・風呂付き個室での8時間睡眠まで承認された。「今後は出入り自由だ。また遊びに来てもいい」と基地長が言ったが、本当にたまたま遊びに来ていやがる。

カンスト





ジンレイ王国の第4王子（勇者Lv47）と東の小国ムーンブ●クの王女（賢者Lv10）とのパーティーが中級者向け狩り場で行方不明に！王子の政略結婚のご相手を接待する冒険ツアーなのになんたる失態だ。近くにいる評判のいいパーティーに緊急救援要請を出した。万が一でも王女が魔物に汚される事を阻止しなくてはならないのだ。



第4王子ってことは次期王になれる可能性はゼロではないわけだ。王国では妻の侍女との姦通が貴族の嗜みで、あの侍女団を見てから彼は結婚後の性活を妄想しまくってた。

\*メダ/ニを受けてる

「貴族三女事件」でヒゲヤギの魔物に処女を奪われた田舎出の新米女勇者。わずか数ヶ月でLv60まで成長し、あの魔物に見事リベンジを果たした実績でパーティーの評判を上げた。

ジンレイ王国のお菓子大好物なのでこの婚約に不満はない。ドロドロ系小説愛好家である彼女は清纯系・色気系・ロリ系侍女を一人ずつ厳選して王国に来た。







おほオ

王子様の  
生チ・ポ

「ぐわっ…最速で救援対象を発見したと思ったら、汚されちゃいけないという王女はもう…これ以上はないほど汚されてるわ…」

「王子様は筋力がカンストした筋肉マニアって聞いたけど…このLv63の私が全く抵抗できないなんて…しかもこの馬並の男根…！王女さんはこれから毎晩大変な事になりそう…まあ今のサイクロプス生殖器本より大変にはならないでしょう」

ブル

ビク

王子様の  
生チ・ポ

ビク

ズブ

ズブ

ブル

ズブ

ズブ

ズブ

ズブ

キョポ

ズブ

キョポ

ズブ







んほち

失禁  
しちマラ

キョポ

「(メダバニ中)おお。。。清纯系侍女さん、安産型のデカ尻だった。。。この初物のオマ○ヨなまらん！花のお世話が大好きだって？なら今度は夜の花園で。。。！」  
「この。。。バカ王子様。。。残念っ私のマ○ヨはもうとどろげヤギの魔物や。。。仲間のふたなり弟の性器の形になってる、中古品ですけど。。。」  
「(メダバニ中)おお。。。巨乳侍女田さん、前も後も回もいけるんだな！いや多分乳首の穴も開発次第で。。。！」





死ぬ

女勇者  
また死ぬじゃん♡

「(メダパニ中)おおお。。。下級貴族出身の侍女◎さん、世間知らずロリだった。。。なら張型ぶち込み首輪つけの全裸散歩は王族侍女の日常である事を俺が教えなきゃー!」

「くっ。。。もうだめえ。。。力入らないイ。。。パカ王子様のアカチ●ポに殺さ  
れるっ。。。田ま、まだなの? 魔法師さん田!」

ビクッ

ビクッ

ブルッ

ブルッ

ドクン  
ドクン

ビクッ

ビクッ

ビクッ

ビクッ

ズプッ

チュポ







※私が仕留めました

魔物殲滅呪文一閃。女勇者が自分の肉穴を使って時間稼ぎをしたおかげで、王子とその婚約者は無事救出。王女の下半身にヒーリング魔法をかけまくって元通りにし、「犯される前に救出したから、汚されていない」と報告したら疑ってくるアホは1人も居なかった。

約10年に1回の人魔戦争は、その世代の冒険者を育てるのだ。開戦前平均レベル5だったこのパーティーは開戦1年後、平均レベル65のベテランチームとして魔王親衛隊と交戦し、英雄達対魔王の決戦を見守った。さらに10年後の第10次人魔戦争の決戦には、全員<sup>カスト</sup>レベル99になり仲間のふたなり弟や変態女盗賊・女賢者も吸収したこのパーティーが挑むのだ。



ご購入 ありがとうございます!

- 本商品の登場人物は全て18歳以上の年齢です。
- CG集の著作権はサークル「SR 淫魔ノ森」とCG製作者にあります。いかなる理由でも著作者に無断で転載配布等の行為はご遠慮ください。
- 本作品は成年向けです。18歳未満の方の閲覧はご遠慮ください。
- CG集閲覧において発生した障害に関して著作者は一切責任を持ちません。

当該条件に同意できない方は閲覧をご遠慮ください。

<http://www.pixiv.net/member.php?id=907181>

<https://twitter.com/inmanomori>

(殆どつぶやいていません)





















































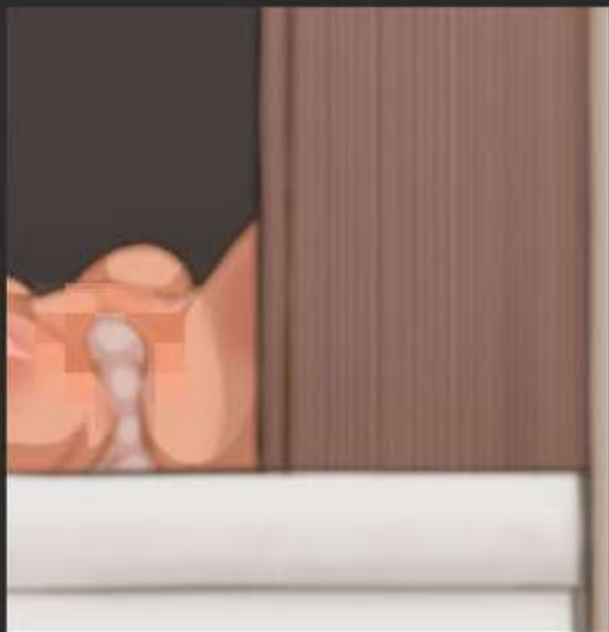
















































































































































































































※私が仕留めました